

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32114	鹿島賑わい活性化事業	産業経済部	観光・国際交流課	2
32211	東道後温泉郷春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	3
32211	二之丸史跡庭園開園30周年記念事業	産業経済部	観光・国際交流課	4
32211	松山を楽しもうキャンペーン事業	産業経済部	観光・国際交流課	5
32211	鹿島春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	6
32211	風早海まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	7
32211	松山春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	8
32211	松山野球拳おどり事業	産業経済部	観光・国際交流課	9
32211	松山港まつり三津浜花火大会事業	産業経済部	観光・国際交流課	10
32212	伊予餅産業振興事業負担金事業	産業経済部	観光・国際交流課	11
32212	鍵谷カナ唄頌功会事業	産業経済部	観光・国際交流課	12
32212	放生園管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	13
32212	HAIKU(国際俳句)ブランディング事業	産業経済部	観光・国際交流課	14
32221	権現温泉管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	15
32221	四国のみち管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	16
32221	二之丸庭園・城山公園等管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	17
32221	渡船管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	18
32221	索道運輸管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	19
32221	索道施設維持管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	20
32221	松山城管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	21
32222	観光誘客・観光おもてなし事業	産業経済部	観光・国際交流課	22
32223	クルーズ船誘致・受入推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	23
32231	観光WEBプロモーション事業	産業経済部	観光・国際交流課	24
32232	国際観光客誘致促進事業(多言語パンフレット作成)	産業経済部	観光・国際交流課	25
32232	国際観光客誘致促進事業(国際観光振興機構負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	26
32232	国際観光客誘致促進事業(松山空港利用促進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	27
32232	国際観光客誘致促進事業(愛媛・韓国経済観光交流推進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	28
32232	国際観光客誘致促進事業(愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会)	産業経済部	観光・国際交流課	29
32232	国際観光客誘致促進事業(台湾友好交流事業)	産業経済部	観光・国際交流課	30
32232	国際観光客誘致促進事業(ホストタウン事業)	産業経済部	観光・国際交流課	31
32232	国際観光客誘致促進事業(台湾交流人口拡大事業)	産業経済部	観光・国際交流課	32
32232	(公財)松山観光コンベンション協会運営補助事業	産業経済部	観光・国際交流課	33
32232	全国商工会議所観光振興大会運営補助事業	産業経済部	観光・国際交流課	34
32233	修学旅行誘致促進事業	産業経済部	観光・国際交流課	35
32241	広域・観光交流事業(広域観光連携推進協議会事業)	産業経済部	観光・国際交流課	36
32241	広域・観光交流事業(四国四市観光誘致促進協議会事業)	産業経済部	観光・国際交流課	37
32241	広域・観光交流事業(四国観光立県推進愛媛協議会)	産業経済部	観光・国際交流課	38
32241	広域・観光交流事業(観光交流事業)	産業経済部	観光・国際交流課	39
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(伊予鉄坊っちゃん列車運行補助金)	産業経済部	観光・国際交流課	40
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR西日本西遊記プロジェクト)	産業経済部	観光・国際交流課	41
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内・松山ツーリズム推進会議)	産業経済部	観光・国際交流課	42
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(負担金・補助金除く)	産業経済部	観光・国際交流課	43
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(しまなみサイクルトレイン利用促進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	44
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR四国協定負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	45
32242	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内4県都市長会事業実行委員会)	産業経済部	観光・国際交流課	46
39999	観光総務事務事業(にきたつの路日曜市開催事業)	産業経済部	観光・国際交流課	47
39999	観光総務事務事業(JR松山駅観光案内所業務)	産業経済部	観光・国際交流課	48
39999	観光総務事務事業(愛媛県観光物産協会運営事業)	産業経済部	観光・国際交流課	49
39999	観光総務事務事業(日本観光振興協会運営事業)	産業経済部	観光・国際交流課	50
42311	(公財)松山国際交流協会運営補助事業	産業経済部	観光・国際交流課	51
42312	国際交流推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	52
44111	松山城復興建造物等調査・改修事業	産業経済部	観光・国際交流課	53

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	片山 弘徳

1.事業概要【Plan】

事業名	鹿島賑わい活性化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32114							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	-	-	○	
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり	根拠法令					
取組みの柱	風早レトロタウン構想の推進						
目的・背景	風光明媚な地域の宝として賑わいのあった鹿島の活性化を図り、昭和31年に瀬戸内海国立公園に指定された鹿島公園の景観整備及び施設の維持管理を目的に風早レトロタウン構想の策定に伴い、風早サブセンターゾーンの活性化策の1つとして事業を開始した。						
対象・内容	海水浴シーズンに併せ海水浴場のサメ防護ネットの設置・撤去に係る業務の委託を行う。また、北条鹿島博物館展示館の管理業務や鹿島公園清掃業務の委託を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	北条鹿島公園清掃等委託料		11,393
予算(千円)	事業費計	24,813	21,604	25,579			北条鹿島砂浜整備等工事請負費		2,916
	国費・県費						鹿のエサ等消耗品		2,608
	市債								
	その他	373	449	529					
一般財源	24,440	21,155	25,050						
決算(千円)	事業費計	19,792	21,096			主な取組内容【R4】	鹿島の賑わいを創出するため、北条鹿島博物館展示館の運営や海水浴場にサメ防護ネットを設置した。また、鹿島公園の景観整備及び施設の維持管理を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	442	520						
一般財源	19,350	20,576							
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	来島者数		目標	55,500	55,500	55,500	55,500	感染症拡大の影響を受けたが、全国的な移動制限がなかったことにより来島者が目標の7割を超えた。
			実績	29,792	43,327			
	単年で増	人	達成率	53.7%	78.1%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	滞りなく施設管理を行うことができたとともに、全国的に移動制限がなかったことにより、昨年度と比べ来島者数が増加した。						
課題	キャンプ等のアウトドアレジャーを楽しむ来島者が増加している。それに伴い来島者のマナーの悪化などが見受けられるため、ルール徹底やマナーの啓発を行う必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	重要な観光施設である鹿島の運営管理を今後も行う必要があるため	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	

1.事業概要【Plan】

事業名	東道後温泉郷春まつり事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	観光産業の振興			-	-	-	-	
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令	無し				
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施							
目的・背景	東道後温泉郷を中心に実施される春まつりの開催を支援し、市民の憩いの場を提供すると同時に、観光客の誘致及び地域の活性化を図る。							
対象・内容	毎年4月下旬の祝日(昭和の日)に少年剣道大会等のスポーツ大会や各種団体のバザーを実施する東道後温泉郷春祭り実行委員会に補助金を支出する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	なし		0
予算(千円)	事業費計	100	100	100					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	100	100	100					
決算(千円)	事業費計	0	0			主な取組内容【R4】	支出なし		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	0						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項	祭りが実施されなかったため。		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	補助金の適正交付(回数)	目標	-	-	1	1			
		実績	-	-					
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	その他							
	理由	祭りが行われず、補助金の支出がなかったため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	地元の主要な祭りを今後も実施する必要があるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	仙波 匡視	担当	富岡 有紀子	芝 澄麗

1.事業概要【Plan】

事業名	二之丸史跡庭園開園30周年記念事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32211								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	観光産業の振興							
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令					
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施							
目的・背景	令和4年5月2日に二之丸史跡庭園は開園30周年を迎えるにあたり、「花」を用いて園内を装飾し、庭園の魅力を広く市民や観光客に発信する記念イベントを行う。特別感のある演出を行うことで、普段と異なる二之丸史跡庭園の魅力を創出し、誘客を図る。							
対象・内容	【対象】 市民や観光客 【内容】 ゴールデンウィークを含む2週間、庭園の流水園に花を浮かべる「花手水」や「花のアーチ」など園内を華やかな装飾で演出する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料		3,498
予算(千円)	事業費計	0	3,500	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他		3,500						
一般財源									
決算(千円)	事業費計	0	3,498			主な取組内容【R4】	イベント業務委託		
	国費・県費								
	市債								
	その他		3,400						
	一般財源		98						
人役	正規職員		0.5			特記事項			
	その他		0.5						
	合計	0.0	1.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	開催期間	目標	0	14	0	0	期間中雨天もあったが目標どおり実施できた。	
		実績	0	14				
	単年で増	日	達成率	0.0%	100.0%			
成果指標	集客人数	目標	0	7,154			新聞、テレビ、インターネット(SNS)を利用した幅広い告知で、ゴールデンウィーク期間ということもあり、幅広い層の方に訪れていただけた。	
		実績	0	10,222				
	単年で増	人	達成率	0.0%	142.9%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	目標集客数、目標使用料収入を大幅に上回ったため。						
課題	毎年ゴールデンウィーク期間中にイベントを行うなど、今後も二之丸史跡庭園に多くの方が興味を持っていただき、来園者の増加につなげたい。			今後の方向性	終期到来による廃止	左記の理由	30周年は終了したため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557		
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	仙波 匡視	担当	富岡 有紀子	武井 昭恵	

1.事業概要【Plan】

事業名	松山を楽しもうキャンペーン事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金		
32211			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	-	-	○		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する								
施策	観光産業の振興								
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令						
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施								
目的・背景	<p>【目的】全国的にも稀な事業展開手法として、県下主要メディア(新聞社・民間テレビ局・ラジオ局)が一体となって城山公園(堀之内)とその周辺で、毎年秋に集客力のあるイベントを実施することで、中心市街地の活性化を目的としている。</p> <p>【背景】人々が集い、楽しめる場所となる城山公園の利活用を促進する中で、地元メディアとの連携により、集客イベントを展開するため事業を開始した。</p>								
対象・内容	<p>【対象】県内外観光客と市民（負担金交付先:松山を楽しもうキャンペーン実行委員会）</p> <p>【内容】①えひめ・まつやま産業まつりとの連携により実施する「えひめ・まつやま産業まつりwithメディアパーティー」②毎年2万人を超える子ども連れのご家族が参加する「キッズふれあいランド」③県警音楽隊との連携による「秋のプロムナードコンサート」④まつやま歌うま選手権(旧:歌謡チャンピオン大賞)</p>								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	松山を楽しもうキャンペーン実行委員会への負担金	23,800	
予算(千円)	事業費計	24,000	23,800	23,500					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	24,000	23,800	23,500					
決算(千円)	事業費計	2,005	23,800			主な取組内容【R4】	地元メディアと連携を図り、秋に集客力のあるイベントを実施 ・秋のプロムナードコンサート ・キッズふれあいランド ・えひめ・まつやま産業まつりwithメディアパーティー ・歌謡チャンピオン大賞		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,005	23,800						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント開催数		目標	7	7	7	7	新型コロナウイルス感染症の社会的な影響と感染症状況によりイベント開催数が減少した。	
	実績			1	6				
成果指標	現状維持	回	達成率	14.3%	85.7%			新型コロナウイルス感染症の社会的な影響と感染症状況によりイベント開催数が減少した。	
			目標	82,400	82,400	82,400	82,400		
	集客数	実績	800	58,600					
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	一部のイベントで集客数等が目標に届かなかったが、事業全体としては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも感染対策を徹底しながらイベントを実施したため。							
課題	今後の社会状況に合わせ、多くの方に楽しんでいただけるイベントを実施していく必要がある。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	幅広い年齢層の方に楽しんでもらうため、より多くの集客を見込めるイベントを実施するため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片山 弘徳	浦田 絵微

1.事業概要【Plan】

事業名	鹿島春まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	-	-	-	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令	無し				
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施						
目的・背景	市内の観光関連行事として、観光客の誘致を目的とする。毎年5月3日・4日に開催される北条地区の伝統行事として市内外に定着している。						
対象・内容	北条鹿島まつり実行委員会に補助金を支出する。 5月3日:鹿島の権練りやステージイベント、5月4日:大注連縄張替を実施。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	北条鹿島まつり運営補助金		179
予算(千円)	事業費計	450	450	450					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	450	450	450					
決算(千円)	事業費計	0	179			主な取組内容【R4】	・5月3日:鹿島の権練りほか ・5月15日:大注連縄張替 ※新型コロナウイルスの感染対策のため、大注連縄張替は関係者のみで実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	179						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント内容を縮小し実施したため決算額が予算額を下回った。		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	周知メディア数	目標		8	8	8	市広報や民間のイベントHP等を活用した		
		実績		8					
	単年で増	個	達成率	-	100.0%				
成果指標	来島者数(鹿島まつり期間中)	目標		3,600	3,600	3,600	新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小開催としたため		
		実績		1,500					
	単年で増	人	達成率	-	41.7%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルスの影響を受けてイベント内容を縮小したが、3年ぶりに鹿島まつりを開催することができ、市内の観光関連行事として観光客の誘致に寄与した。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、市内の観光関連行事として観光客の誘致を図る。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片山 弘徳	安井 李江

1.事業概要【Plan】

事業名	風早海まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		○	-	-	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興	根拠法令	無し				
主な取組	観光都市としての魅力向上						
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施						
目的・背景	交流人口の拡大と地域経済の活性化を目的としている。風早海まつりは昭和58年から花火大会と商工夜店まつりを共催した「北条夏まつり」として行われ、平成7年からは地域住民総ぐるみで参加する北条地域最大の夏のイベントとして開催されている。ワンダーランド河野氏まつりは豪族河野氏の歴史をたどるイベントとして定着している。						
対象・内容	風早海まつり(北条地区最大の花火大会)を実施する風早海まつり実行委員会に補助金を支出する。 また、ワンダーランド河野氏まつりを実施するワンダーランド河野氏まつり実行委員会に負担金を支出する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光総務費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	風早海まつり運営補助金		3,550
予算(千円)	事業費計	4,250	4,250	4,250					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,250	4,250	4,250					
決算(千円)	事業費計	280	3,885			主な取組内容【R4】	・風早海まつり ・ワンダーランド河野氏まつり(縮小開催)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	280	3,885						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項			
	その他								
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	広報媒体の活用(広報紙、HP等)	目標		6	6	6	市広報や民間のイベントHP等を積極的に活用した		
		実績		11					
	単年で増	件	達成率	-	183.3%				
成果指標	花火の観覧者数	目標		48,000	48,000	48,000	新型コロナウイルスの不安感、当日の天候不良		
		実績		29,000					
	単年で増	人	達成率	-	60.4%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	花火の観覧者数は目標に達することはできなかったが、各まつりを3年ぶりに開催することができ、地域振興につなげることができた。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き各まつりを開催し、地域振興につなげるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557		
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	仙波 匡視	担当	武井 昭憲	江原 晶彦	

1. 事業概要【Plan】

事業名	松山春まつり事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金		
32211									
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	-	-	-		
施策	観光産業の振興								
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令						
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施								
目的・背景	<p>【目的】春の桜の時期に、松山城と城下町(お城下)を市民や観光客に広く楽しんでいただくとともに、松山の歴史、文化の継承に貢献することを目的として実施している。</p> <p>【背景】昭和42年に松山城小天守再建の決定を記念して開始</p>								
対象・内容	<p>【対象】市民、観光客</p> <p>【内容】お城まつり:大名武者行列、野球拳全国大会、東雲能、伊予節等 道後温泉まつり:湯祈禱、長寿餅つき、ダンス、女みこしかきくらべパレード</p>								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	21,283	21,600	21,563			主な経費 (千円) 【R4 決算】	道後温泉まつり実行委員会への負担金	4,000
	国費・県費							お城まつり実行委員会への負担金	3,390
	市債							チラシ作成委託料	612
	その他								
	一般財源	21,283	21,600	21,563					
決算 (千円)	事業費計	4,275	8,002				主な取組内容 【R4】	東雲能は規模を縮小して開催。道後温泉まつりは、コロナ前と同規模程度の内容で開催。	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,275	8,002						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8			特記事項	お城まつりは東雲能以外のイベントが新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止となった。	
	その他								
	合計	0.8	0.8	0.8					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント開催数【主要イベント】	目標	6	6	6	6	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントの開催が中止・縮小となった。		
		実績	2	2					
	現状維持	回	達成率	33.3%	33.3%				
成果指標	集客数	目標	186,450	186,450	186,450	186,450	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントの開催が中止・縮小となった。		
		実績	4,570	20,100					
	単年で増	数	達成率	2.5%	10.8%				
事業評価	評価	取組が期待した成果をあげられず、今後改善が必要							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、道後温泉まつりと東雲能以外のイベントが全て中止になったため。							
課題	今後の社会情勢に合わせて、中止していたイベントを再開していく。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	実行委員会と連携し、多くの市民や観光客に楽しんでいただくイベントとして継続するため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	大政 遼平	安井 李江

1.事業概要【Plan】

事業名	松山野球拳おどり事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	観光産業の振興							
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令					
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施							
目的・背景	昭和41年に、四国3県都の夏祭りに肩を並べる夏の風物詩を作ろうと、「松山おどり」としてスタートした。令和4年度から「松山野球拳おどり」に改称して開催し、真夏の一大イベントとして憩いの場を提供するとともに、交流人口の拡大及び地域の活性化を図ることを目的に実施している。							
対象・内容	松山野球拳おどり実行委員会に負担金を支出し、松山野球拳おどりを開催するほか、普及・広報活動をとおして、まつりへの参画を促している。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	松山野球拳おどり実行委員会負担金		26,330
予算(千円)	事業費計	26,330	26,330	23,860					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	26,330	26,330	23,860					
決算(千円)	事業費計	15,000	26,330			主な取組内容【R4】	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数を制限して開催した。合わせて、YouTubeライブによるオンライン配信を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	15,000	26,330						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、街頭での演舞を中止し、「松山まつりonWeb」を開催した。		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	参加連の数		目標	-	-	45	45		
			実績	-	29				
	単年で増	連	達成率	-	-				
成果指標	観客動員数		目標	-	-	55,000	55,000		
			実績	-	55,000				
	単年で増	人	達成率	-	-				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、参加連・観客は減少したものの、「松山まつり」から「松山野球拳まつり」に改称し、新しい取り組みを行いブランディングを図ったほか、YouTubeライブでの配信に取り組むなど、県内外へ魅力を発信することができたため。							
課題	野球拳おどりの参加者や観客が減少傾向にある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	交流人口の拡大と地域の活性化に寄与しているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	浦田 絵微	

1. 事業概要【Plan】

事業名	松山港まつり三津浜花火大会事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32211				各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				-	-	-	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する								
施策	観光産業の振興			根拠法令					
主な取組	観光都市としての魅力向上								
取組みの柱	集客力のある祭・イベントの実施								
目的・背景	「四国で最大級の花火大会」を共催実施することにより、観光客の誘客とともに、地域振興を図る。								
対象・内容	松山港まつり・三津浜花火大会を開催する松山港まつり振興会に負担金を支出する。								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	松山港まつり振興会への負担金		14,650
予算(千円)	事業費計	13,984	14,650	13,150					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	13,984	14,650	13,150					
決算(千円)	事業費計	1,196	14,657			主な取組内容【R4】	・松山港まつり・三津浜花火大会の開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,196	14,657						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項	市内旅費が発生したため、決算額が上回った。		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	広報媒体の活用(広報紙、HP等)		目標	-	-	20	20	-	
			実績	0	18				
	単年で増	件	達成率	-	-				
成果指標	観客数		目標	-	-	160,000	160,000	-	
			実績	0	150,000				
	単年で増	人	達成率	-	-				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止していた花火大会を3年ぶりに開催することができ、地域振興に寄与した。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き花火大会を開催し、地域振興につなげるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	

1.事業概要【Plan】

事業名	伊予絋産業振興事業負担金事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32212				各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				-	-	-	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する								
施策	観光産業の振興			根拠法令					
主な取組	観光都市としての魅力向上								
取組みの柱	既存観光資源の有効活用								
目的・背景	伝統的地場産業である伊予絋業界の振興のために実施している。伊予絋は松山の地場産業として、昔から人々に親しまれてきた。一方で、時代の経過とともにその売れ行きは年々減少しており伊予絋業界が発展するためには松山市の負担金支出が必要であるため。								
対象・内容	伊予織物工業協同組合では、伊予絋の発展のため、各種展示会、即売会を開催するほか、伝統工芸大賞に出品、無形文化財登録への取り組みなど伊予絋発展のため尽力している。これらの取り組みを行う伊予織物工業協同組合に負担金を支出する。								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	負担金		400
予算(千円)	事業費計	400	400	400					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400	400					
決算(千円)	事業費計	400	400			特記事項			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1					
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	負担金の適正執行	目標		-	-	1	1	-	
		実績		1	1				
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	滞りなく負担金を支出し、伊予織物工業協同組合の活動を行うことができたため。							
課題	・伊予絋を存続させていくにあたって後継者等の問題			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	伝統工芸である伊予絋を継続していくために必要な事業であるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	

1.事業概要【Plan】

事業名	鍵谷力ナ媪頌功会事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32212								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	観光産業の振興			-	-	-	-	
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令					
取組みの柱	既存観光資源の有効活用							
目的・背景	伊予絃の創始者である鍵谷力ナの顕彰と地域の活性化を図る。							
対象・内容	毎年5月28日に鍵谷祭を開催し、垣生小学校生徒による鍵谷力ナを題材にした集会や、バザーや俳句教室を行う鍵谷力ナ媪頌功会へ補助金を支出する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工観光費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】			0
予算(千円)	事業費計	30	30	30					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	30	30	30					
決算(千円)	事業費計	0	0			主な取組内容【R4】	実施なし		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	0						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	補助金の適正交付(回数)	目標	-	-	-	-	・R5年度から祭りの実施を中止することにより目標は設定しない。	
		実績	-	-	-	-		
	現状維持	回	達成率	-	-	-		-
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	その他						
	理由	・令和2年度から祭りの実施をしておらず市の補助金を支出していないため、事業評価をすることができない。						
課題	・補助金の支出予定はないが、各関係部署と連携しながら今後も伊予絃の発展を進めていく必要がある。			今後の方向性	終期到来による廃止	左記の理由	・実施団体の高齢化により、記念式典を行うことが難しく、令和5年度以降、祭りの実施は行わず自由参拝で供養を行う形に変更することとなったため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	安井 李江	浦田 絵微

1.事業概要【Plan】

事業名	放生園管理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32212								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	観光産業の振興			-	-	-	-	
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令					
取組みの柱	既存観光資源の有効活用							
目的・背景	本市を代表する観光地である道後の玄関口となる放生園を適切に管理するため、樹木の保護育成、園内の清掃、施設(足湯・坊っちゃんカラクリ時計等)の管理を行う。							
対象・内容	対象:放生園内施設及び道後への観光客 ・道後温泉旅館協同組合に委託金を支出し、放生園内の樹木の保護育成、園内の清掃、足湯の管理等を行う。 ・坊っちゃんカラクリ時計の保守点検を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料		3,013
予算(千円)	事業費計	7,347	6,116	6,641			使用料		1,997
	国費・県費						光熱水費		749
	市債								
	その他								
	一般財源	7,347	6,116	6,641					
決算(千円)	事業費計	6,846	5,950			主な取組内容【R4】	道後温泉旅館協同組合への委託により、敷地内の清掃や足湯の運営等の日常管理を行った。 坊っちゃんカラクリ時計の定期的な保守点検、調整並びに、部品の交換を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	6,846	5,950						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	足湯水質定期検査	目標		-	-	1	1		
		実績		1	1			-	
	現状維持	回	達成率	-	-				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、間隔を空けての利用を呼び掛けるポスター等を掲示するとともに、感染状況を慎重に見極めながら施設運営に取り組み、目標どおり施設を管理することができた。							
課題	今後、放生園内の設備や植栽の老朽化が進むため、定期的に状況を確認し、施設の点検・更新について計画的に予算計上する必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の観光地の代表である道後の玄関口となる放生園を適正に管理し、観光事業の発展をはじめ地域振興に寄与する。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内・松山観光	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	栗栖 洋平	担当	大堀 祐輝	相原 健吾

1. 事業概要【Plan】

事業名	HAIKU(国際俳句)ブランディング事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32212			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	-	○	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興							
主な取組	観光都市としての魅力向上		根拠法令					
取組みの柱	既存観光資源の有効活用							
目的・背景	【目的】「松山・俳句=HAIKU」をブランディングし知名度を向上させるとともに、訪れた観光客に感動を与える新しい着地型旅行商品を開発し、国内外の観光客を誘致・誘客することで、滞在時間の増加や交流人口の拡大を目指す。 【背景】国内外の観光客を誘致・誘客するために、松山ならではの俳句や文学をテーマとした滞在プログラム型の旅行商品開発等に取り組むこととなった。							
対象・内容	【対象】国内外からの観光客 【交付先】松山はいく運営委員会 【内容】「松山・俳句=HAIKU」をブランディングし知名度を向上させるとともに、「俳句や文学」を活用した世界的俳句大会の開催や新しい着地型旅行商品を開発し、国内外の観光客を誘致・誘客することで、観光交流人口の拡大を目指すため、着地型観光プログラムである有料のまち歩きガイド「松山はいく」の運営母体「松山はいく運営委員会」へ負担金を支出する。 ・吟行体験等の「俳都=松山」ならではの体験メニューを提供して、修学旅行誘致促進事業と連携 ・瀬戸内・松山写真俳句コンテストの開催 ・需要変化による新しい価値を創造したまち歩き商品等の充実・情報発信 ・連携都市・大学・新聞社・カルチャースクール、旅行会社との連携							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	負担金	12,874		
予算(千円)	事業費計	18,800	15,500	15,500						
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	18,800	15,500	15,500						
決算(千円)	事業費計	17,220	12,874			主な取組内容【R4】	・瀬戸内・松山写真俳句コンテストの開催 ・吟行体験等の「俳都=松山」ならではの体験メニューを開発・販売 ・修学旅行誘致促進事業と連携し、観光客の誘致・誘客に取り組む			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	17,220	12,874							
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記事項				
	その他	0.5	0.5	0.5						
	合計	1.1	1.1	1.1						

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	採用旅行会社数		目標	18	18	18	18	新型コロナウイルスの影響により未達成。ただし、OTA活用や広告出稿等を通じ、消費者の目に触れるよう流通販売の強化を行い、松山の魅力を伝えることができた。
	単年で増	社	達成率	88.9%	83.3%			
成果指標	松山はいく参加者		目標	4,000	4,000	4,000	4,000	新型コロナウイルスの影響により未達成。ただし、下半期は、コロナ禍が落ち着き案内数を順調に伸ばすことができた。
	単年で増	人	達成率	44.7%	88.7%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	松山はいく事業では、まち歩きガイド事業等を通じて、観光客に対して継続して松山の魅力を伝えることができていたため。国際俳句コンテストの実施等により、俳句の知名度向上を図り、国内外からの観光客の誘致・誘客に繋げているため。松山ならではの俳句体験を希望する修学旅行誘致に際して、有効なメニューとなっているため。						
課題	・まち歩きメニューの充実 ・人材の育成・確保 ・国際写真俳句コンテストの開催 ・観光客等のニーズを反映した新しい体験メニューの開発			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	国内外の観光客に対応するため、ガイドのスキルアップや新商品を造成するほか、瀬戸内・松山国際写真俳句コンテストの見直しを検討するため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片山 弘徳	浦田 絵微

1.事業概要【Plan】

事業名	権現温泉管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32221		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		-	-	-	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興	根拠法令	松山市温泉使用条例、松山市温泉使用条例施行規則				
主な取組	受入体制の整備						
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	権現温泉を適正に供給し、観光事業の発展をはじめ地域の振興に寄与する。						
対象・内容	温泉の適正な供給のため、分湯施設(源泉・貯水槽・分湯槽)の維持管理を行う。 温泉の供給先に対し、使用料を毎月請求し、入金管理を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	光熱水費		150
予算(千円)	事業費計	340	483	434			鉱泉分析検査手数料		138
	国費・県費								
	市債								
	その他	1,284	1,405	1,409					
一般財源	-944	-922	-975						
決算(千円)	事業費計	242	382			主な取組内容【R4】	・分湯施設の維持管理 ・供給先に対する使用料の入金管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他	1,404	1,404						
一般財源	-1,162	-1,022							
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	0.7	0.7	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	使用料収入		目標	-	-	1404	1404	-	
			実績	1404	1404				
	単年で増	千円	達成率	-	-				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適切に施設を管理し、滞りなく温泉を供給できた。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、権現温泉を適正に供給し、観光事業の発展をはじめ地域振興に寄与する。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片山 弘徳	大政 遼平

1.事業概要【Plan】

事業名	四国のみち管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32221		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		-	-	-	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興	根拠法令					
主な取組	受入体制の整備						
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行い、利用者の安全な利用を確保する。 愛媛県から管理委託の要請があり事業を開始した。						
対象・内容	四国のみち(四国自然歩道)委託区間:36.7km 旧道三坂峠を下るみち、瀬戸風峠へのみち、北三方ヶ森へのみち、高縄山探鳥のみちの各ルートを良好な状態に保つため、パトロールを行う。 また、シルバー人材センターに委託料を支出し、清掃活動等を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	清掃業務委託料		62
予算(千円)	事業費計	65	65	66					
	国費・県費	62	63	63					
	市債								
	その他								
一般財源	3	2	3						
決算(千円)	事業費計	64	64			主な取組内容【R4】	四国のみちを良好な状態に保つため、パトロールと清掃活動を行った。		
	国費・県費	64	64						
	市債								
	その他								
一般財源	0	0							
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	パトロール回数	目標		3	3	3	3	計画的にパトロールを実施できた。	
		実績		3	3				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行い、利用者の安全な利用を確保することができたため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き県の委託に従い、四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行う。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557		
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	仙波 匡視	担当	富岡 有紀子	芝 澄麗	

1.事業概要【Plan】

事業名	二之丸庭園・城山公園等管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興		-	-	-	○	
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	松山城索道条例、松山城索道条例施行規則、都市公園法、松山市都市公園条例、松山城二之丸史跡庭園条例、松山城二之丸史跡庭園条例施行規則				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	<p>【目的】 観光・文化施設として、松山城二之丸跡の遺構を保護する一方、四季折々に楽しめる史跡庭園として活用するとともに、市民に開放された都市公園である城山公園山頂広場(本丸広場)及び登城道等の効果的な維持管理・運営を目指す。</p> <p>【背景】 二之丸史跡庭園、城山公園、観光交流ホール及び会議室は、松山城及び索道運輸事業に関連する施設として、平成20年度から一括して指定管理を選定している。これまで各施設で事務事業を設定していたが、令和3年度より一つの事務事業に統合した。</p>						
対象・内容	<p>【対象】 指定管理者 【事業内容】 指定管理料支出 二之丸史跡庭園施設内:庭園の運営、施設の日常管理を行うほか、連携してイベントを企画し実施する。 松山城山公園丸之内地区:本丸、長者ヶ平、登城道等(建造物を除く)において樹木の点検及び剪定や日常的な清掃及び維持補修を行う。 交流ホール・会議室:一般貸出のための利用申請受付、使用料徴収、利用促進のための各種案内及び企画等を行い、情報発信機能とまちづくり支援機能を担う。 その他、指定管理からの報告に基づき、必要に応じて施設の修繕等の対処を行う。</p>						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料(指定管理料等)	112,062		
予算(千円)	事業費計	116,478	115,219	142,076				工事請負費	1,442	
	国費・県費	4,172	4,171							
	市債									
	その他	10,088	11,895	11,314						
	一般財源	102,218	99,153	130,762						
決算(千円)	事業費計	113,441	114,324			主な取組内容【R4】	二之丸史跡庭園、城山公園、交流ホールについて指定管理者制度を導入し、適切な施設管理をした。			
	国費・県費	2,779	3,733							
	市債									
	その他	8,351	13,140							
	一般財源	102,311	97,451							
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項				
	その他									
	合計	1.0	1.0	1.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	営業日数		目標	-	-	365	364	
			実績	269	364			
	現状維持	日	達成率	-	-			
成果指標	二之丸史跡庭園使用料・交流ホール使用料		目標	-	-	8,801	10,216	
			実績	6,162	10,396			
	単年で増	千円	達成率	-	-			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	休園することなく営業できた。 また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの二之丸30周年記念事業や秋のイベント(光の庭園)開催により、多くの方に来園していただいたため。						
課題	二之丸史跡庭園の認知度向上に向け、指定管理者と連携し、魅力あるイベント等を開催するなど、歳入の増加を図る。 観光交流ホールの認知度向上に向け、指定管理者と連携し、ホームページの掲載方法を工夫するなど、歳入の増加を図る。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度から指定管理者が変更になったが、施設の管理・運営等の業務内容に変化はないため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片山 弘徳	的場 愛子

1.事業概要【Plan】

事業名	渡船管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		-	-	-	-	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	松山市鹿島公園渡船施設使用料条例、松山市鹿島公園渡船施設使用料条例施行規則				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	渡船運営に係る管理・点検(遊覧船を含む)及び駐車場の管理を行い、快適な運航や乗客の安全を確保するなどし、鹿島への誘客・利便性の向上を図る。鹿島への公共交通機関として市が渡船業務を開始した。						
対象・内容	渡船運航、渡船施設の維持管理を行う。 渡船運航および渡船施設管理は民間委託している。 ・鹿島渡船運航業務委託:石崎汽船株式会社 ・鹿島渡船施設管理業務委託:松山市シルバー人材センター						

2. 事業実施【Do】

		会計	鹿島観光事業特別	款	鹿島観光事業特別	項	渡船管理事業費	目	渡船管理事業費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	鹿島公園渡船運航業務委託料		13,573
予算(千円)	事業費計	33,300	29,600	33,100			鹿島公園渡船施設管理業務委託料		5,617
	国費・県費						船舶修繕料		3,481
	市債								
	その他	33,300	29,600	33,100					
一般財源									
決算(千円)	事業費計	27,374	27,657			主な取組内容【R4】	渡船運航および渡船施設管理を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	27,374	27,657						
一般財源									
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.3	1.3	1.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	渡船利用者数		目標	-	-	55,500	55,500	-	
			実績	29,792	43,327				
	単年で増	人	達成率	-	-				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	コロナ禍においても前年比1.47倍の利用者を確保できた。渡船の安全管理を適切に実施し無事故で運航できた。							
課題	物価高騰などの影響を受け、修繕費等の経費が増加傾向にある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	鹿島への唯一の公共交通として、適切に維持する必要があるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	仙波 匡視	担当	富岡 有紀子	江原 晶彦

1.事業概要【Plan】

事業名	索道運輸管理事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	2:委託	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		-	-	-	-	
施策	観光産業の振興						
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	地方公営企業法、松山城山索道条例、松山城山索道条例施行規則、松山城山索道の運転の取扱いに関する規則				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	松山城ロープウェイ・リフトを活用し、松山城への観光客の利便性を図るとともに、安全・安心な索道を運営するなど、観光振興を図ることを目的とする。昭和30年8月に松山城ロープウェイを開通し、取り組みを開始した。						
対象・内容	松山城ロープウェイ・リフト及び付随施設(駅舎・駐車場) 松山城ロープウェイ・リフトについて、平成20年度から指定管理者制度を導入し、運営・管理している。 ・来客の安全確保・観光案内に関する業務 ・乗客促進及び苦情処理に関する業務 ・官公庁・旅行代理店、その他外部との連絡調整に関する業務 ・新型コロナウイルス感染予防対策の実施に関する業務 ・駐車・駐輪施設における自動車等の保管・安全誘導・満車時対応に関する業務 ・施設の操作・防災・警備及び清掃に関する業務(防火・救助訓練を含む) ・乗車・観覧券等の発行、現金の出納及び保管に関する業務						

2. 事業実施【Do】

		会計	松山城観光事業特別会計	款	索道運輸事業費	項	索道運輸事業費	目	運輸管理費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	209,464	208,685	269,515			主な経費 (千円) 【R4決算】	委託料	199,984
	国費・県費							給与	3,170
	市債							役務費	1,606
	その他	209,464	208,685	269,515					
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	200,062	203,368				主な取組内容 【R4】	指定管理者により、施設の管理運営を行い、東雲口駅舎入口前に検温所を設置するなど感染拡大防止対策を徹底し、営業した。また、松山城でのイベントに合わせてロープウェイの夜間特別営業も行った。	
	国費・県費								
	市債								
	その他	200,062	203,368						
	一般財源								
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0			特記事項		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	営業日数		目標	365	365	366	365	令和4年9月19日は台風14号の影響で松山城ロープウェイ・リフトを臨時休業とした。
			実績	270	364			
	現状維持	日	達成率	74.0%	99.7%			
成果指標	旅客運輸使用料		目標	295,303	295,303	295,303	295,303	新型コロナウイルス感染症拡大前である平成30年度実績と比べると約8割に回復している。
			実績	99,945	239,486			
	単年で増	千円	達成率	33.8%	81.1%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	活動指標については、ロープウェイ・リフトが臨時休業となった令和4年9月19日は台風(自然現象)が原因であり、休業日数は最小限に抑えられたため。成果指標については、新型コロナウイルス感染症拡大前(平成30年度)の約80%まで回復しているため。						
課題	令和5年度以降は索道運行受託者、指定管理者の2者が施設の管理・運営を行う体制に変更したことから、安全・安心に施設を利用いただけるよう、市を含めた3者で連携し事業を継続していく。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度から索道運行受託者、指定管理者の2者が施設の管理・運営を行う体制に変更しているが、業務内容に変化はないため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	仙波 匡視	担当	富岡 有紀子	江原 晶彦

1.事業概要【Plan】

事業名	索道施設維持管理事業		事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
32221			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			-	-	-	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興							
主な取組	受入体制の整備		根拠法令	地方公営企業法、松山城山索道条例				
取組みの柱	おもてなしの場の充実							
目的・背景	松山城ロープウェイ・リフト施設等の補修の必要な箇所を点検・改修等工事を行うことにより、安全を確保し、乗客の確実な輸送に努めることを目的とする。昭和30年8月に松山城ロープウェイを開通し、取り組みを開始した。							
対象・内容	対象:松山城ロープウェイ・リフト及び付随施設(駅舎・駐車場) 内容:平成20年度から指定管理者制度を導入し、施設の維持管理を行っているが、大規模な改修は、本事業から松山市が直接実施している。							

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	松山城観光事業特別会計	款	索道運輸事業費	項	索道運輸事業費	目	索道運輸事業費
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	工事請負費	需用費	委託料
予算(千円)	事業費計	16,392	80,866	104,870					
	国費・県費								
	市債								
	その他	16,392	80,866	104,870					
一般財源									
決算(千円)	事業費計	10,670	61,525			主な取組内容【R4】	ロープウェイ・リフトの点検・改修等工事を行うことにより、安全を確保し、乗客の確実な輸送に寄与する。 令和4年度は、ロープウェイ客車更新その他工事等を実施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	10,670	61,525						
一般財源									
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	営業日数		目標	365	365	366	365	令和4年9月19日は台風14号の影響で松山城ロープウェイ・リフトを臨時休業とした。
			実績	270	364			
	現状維持	日	達成率	74.0%	99.7%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	ロープウェイ・リフトが臨時休業となった令和4年9月19日は台風(自然現象)が原因であり、休業日数は最小限に抑えられたため。						
課題	令和5年度以降は索道運行受託者、指定管理者の2者が施設の管理・運営を行う体制に変更したことから、安全・安心に施設を利用していただけよう、市を含めた3者で連携し事業を継続していく。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度から索道運行受託者、指定管理者の2者が施設の管理・運営を行う体制に変更しているが、業務内容に変化はないため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城	連絡先	948-6557	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	仙波 匡視	担当	富岡 有紀子	江原 晶彦

1.事業概要【Plan】

事業名	松山城管理事業		事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	3:指定管理	
32221								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			-	-	-	-	
施策	観光産業の振興							
主な取組	受入体制の整備		根拠法令	地方公営企業法、松山城天守閣条例、松山城天守閣条例施行規則				
取組みの柱	おもてなしの場の充実							
目的・背景	重要文化財・松山城の魅力を高めるとともに、観光客の利便性を図るなど、松山城の運営・管理を行うことを目的とする。1923年(大正12年)、松山城(本丸)が旧藩主家の久松家へ払下となり、そのまま松山市に寄贈され、以降、松山市の所有となっている。							
対象・内容	松山城の運営・管理について、平成20年度から指定管理者制度を導入し、運営・管理している。 ・来客の安全確保・観光案内に関する業務 ・施設の防災・警備及び清掃に関する業務(防火・救助訓練を含む) ・集客促進及び苦情処理に関する業務 ・施設の整備及び保守に関する業務 ・官公庁・旅行代理店、その他外部との連絡調整に関する業務 ・現金の出納及び保管に関する業務 ・観覧券等の発行に関する業務 ・新型コロナウイルス感染予防対策の実施に関する業務							

2. 事業実施【Do】

		会計	松山城観光事業特別会計	款	松山城管理費	項	松山城管理費	目	松山城管理費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料		118,345
予算(千円)	事業費計	144,695	138,149	180,472					
	国費・県費								
	市債								
	その他	144,695	138,149	180,472					
一般財源									
決算(千円)	事業費計	122,753	126,100			主な取組内容【R4】	指定管理者により、施設の管理運営を行い、天守入場券売り場前に検温所を設置するなど感染拡大防止対策を徹底し、営業した。令和5年1月から令和5年3月にかけて、謎解きイベント等の集客促進事業を開催した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	122,753	126,100						
一般財源									
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	営業日数		目標	364	364	365	364	令和4年9月19日は台風14号の影響で松山城天守を臨時休業とした。	
			実績	269	363				
	現状維持	日	達成率	73.9%	99.7%				
成果指標	城郭観覧手数料		目標	217,000	217,000	217,000	217,000	新型コロナウイルス感染症等の影響により、目標未達成となった。	
			実績	76,190	181,070				
	単年で増	千円	達成率	35.1%	83.4%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	松山城天守が臨時休業となった令和4年9月19日は台風(自然現象)が原因であり、休業日数は最小限に抑えられたため。							
課題	令和5年度以降は指定管理者が変更になることから、安全・安心に施設を利用していただけるよう、指定管理者と連携し、施設を運営していく。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度から指定管理者が変更されるが、施設の管理・運営等の業務内容に変化はないため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片山 弘徳	浦田 絵微

1.事業概要【Plan】

事業名	観光誘客・観光おもてなし事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32222								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	-	
施策	観光産業の振興							
主な取組	受入体制の整備		根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの心の醸成							
目的・背景	観光客の松山旅行に対するイメージアップを図るため、観光PR力の向上とまち全体の「おもてなし」風土の醸成を図ることを目的とする。							
対象・内容	道後地域の小学生を対象に「まつやま観光キッズ」に任命したり、商工会議所や松山大学等との連携により学生及び一般市民を対象としたふるさと松山を学ぶ講座を開講したりするなど、松山の魅力を発信できる人材を育成する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費			
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	松山市観光サービス高付加価値化推進事業補助金		16,291			
予算(千円)	事業費計	11,674	22,600	2,085				主な取組内容【R4】		・ふるさとふれあい塾の実施 ・松山市観光サービス高付加価値補助金を6月補正で実施。		
	国費・県費		20,750								ぐるなび連携事業負担金	1,476
	市債		213								「ふるさとふれあい塾」開催負担金	112
	その他		1,637	2,085								
一般財源	11,674	1,637	2,085									
決算(千円)	事業費計	11,257	18,056									
	国費・県費	5,434	17,029									
	市債		65									
	その他		962									
一般財源	5,823	962										
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項	令和4年度に松山フードツーリズム推進事業と統合					
	その他	0.2	0.2	0.2								
	合計	0.6	0.6	0.6								

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	ふるさとふれあい塾講義数	目標	12	12	12	12	関係者との連携により、目標を達成することができた。	
		実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%			
成果指標	松山観光文化コンシェルジェ中級認定数	目標	-	180	180	180	新型コロナウイルスの感染対策のため、対面とオンラインを併用して実施したため、認定条件を満たす受講者が少なかった。	
		実績	-	90				
	単年で増	人	達成率	-	50.0%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	まつやま観光キッズは新型コロナウイルスの影響を受け実施できなかったが、ふるさとふれあい塾は開講し、松山の魅力を発信する人材の育成に寄与できた。						
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光PR力の向上とまち全体の「おもてなし」風土の醸成を図る。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内・松山観光	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	栗栖 洋平	担当	一色 弘明	相原 健吾

1.事業概要【Plan】

事業名	クルーズ船誘致・受入推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32223		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興	根拠法令	無し				
主な取組	受入体制の整備						
取組みの柱	外国人観光客の受入環境の整備						
目的・背景	<p>[目的]松山港に寄港するクルーズ船を誘致するために、外国の船会社に対する商談会に参加し、松山市の魅力をPRするとともに、寄港するクルーズ船に対して、歓迎セレモニー等おもてなしを実施することで乗員乗客の満足度向上を図り、本市への再訪に繋げる。</p> <p>[背景]全国的なクルーズ船の運航が増加する中で、本市への寄港誘致を行い、観光交流人口の増加を図る目的で平成30年度に事業化した。</p>						
対象・内容	<p>[対象]松山港に寄港するクルーズ船及び船会社。</p> <p>[内容]松山港に寄港するクルーズ船に対して、会場設営や観光案内などを設置し、おもてなしを行う。</p> <p>また、クルーズ船の誘致のために、先進市の取組み等の情報収集に努め、港湾管理者である愛媛県や関係団体と連携を図り、商談会へ積極的に参加し、PRを行う。</p>						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費		
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料		2,728		
予算(千円)	事業費計	13,470	13,149	12,507				R4		旅費	85
	国費・県費	0	0	0							
	市債	0	0	0							
	その他	5,406	11,824	11,003							
一般財源	8,064	1,325	1,504								
決算(千円)	事業費計	125	2,813			主な取組内容【R4】	R4.11.18広島商談会参加 R5.3.16~17別府港視察 R5.3.30ダイヤモンドプリンセス受入				
	国費・県費	0	0								
	市債	0	0								
	その他	62	2,806								
一般財源	63	7									
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記事項		新型コロナウイルスの影響でクルーズ船の寄港中止が相次いだほか、商談会の開催も少なく、業務に要する経費の不用が生じた。			
	その他	0.0	0.0	0.0							
	合計	0.6	0.6	0.6							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	クルーズ船商談会参加、視察受け入れ回数	目標	5	5	5	5	新型コロナウイルスの影響で、商談会の開催が少なかった。今後の寄港数増加に向け、アフターコロナを見据えながら誘致に取り組んでいく。	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	20.0%	20.0%			
成果指標	クルーズ船受入数	目標	1	1	4	4	新型コロナウイルスの影響はあったが、令和5年3月にダイヤモンドプリンセスが寄港し、受入を行った。継続寄港や新規の寄港に向けて引き続き誘致を行っていく。	
		実績	0	1				
	単年で増	隻	達成率	0.0%	100.0%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響によりクルーズ船の寄港が長期にわたり中止となっていたが、感染状況の変化に伴う受入基準の緩和により、令和5年3月30日にダイヤモンドプリンセスの受入を行い、本市への経済波及効果があったため。						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県や関係団体との連携強化。 先進市の取組み等の情報収集。 松山市ならではのおもてなしの実施。 			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	観光交流人口の拡大のため、クルーズ船の誘致を行うとともに、寄港時の乗客の満足度を高め、本市への再訪を促す。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	片坐 美乃

1.事業概要【Plan】

事業名	観光WEBプロモーション事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32231								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	-	
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠法令					
取組みの柱	メディア等の有効活用							
目的・背景	松山市の観光情報をWEBサイト「四国松山 瀬戸内松山」等を用いて発信し、当該サイトへのアクセス件数を向上させ、観光都市としての松山市の認知度向上に努めながら誘客を図り、観光産業の振興及び地域経済の発展に資する。インバウンド需要等の高まりから、平成27年度事業により、日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字)・中国語(簡体字)の5言語に対応した観光情報専用WEBサイトを新規構築し、同時に、旬な情報を発信しWEBサイトを補完するFacebook(日本語版)を開設した。平成30年度から、Instagram公式アカウントも開設した。							
対象・内容	委託事業者に委託料を支出し、松山市観光WEBサイト「四国松山 瀬戸内松山」・Facebook、Instagram「四国松山 せとうち松山」の運営管理等を行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	委託料	14,982		
予算(千円)	事業費計	10,021	15,031	5,995						
	国費・県費	0	5,848	2,997						
	市債									
	その他									
	一般財源	10,021	9,183	2,998						
決算(千円)	事業費計	9,031	14,982			主な取組内容【R4】	WEBサイト及びFacebook,Instagramの運営・保守・管理・更新を行った。また九州向けにWEBプロモーションを行った。			
	国費・県費	3,955	7,491							
	市債									
	その他									
	一般財源	5,076	7,491							
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項				
	その他	0.2	0.2	0.2						
	合計	0.7	0.7	0.7						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	特集記事掲載数	目標	31	35	39	43	毎年継続して特集記事を新規に掲載することで掲載数を増やしている。	
		実績	31	36				
	累計で増	記事	達成率	100.0%	102.9%			
成果指標	サイト閲覧数	目標	800,000	800,000	800,000	800,000	全国的な移動制限がなかったことにより観光需要が増加しサイトのPV数に繋がったと考えられる。	
		実績	705,211	1,155,377				
	単年で増	PV	達成率	88.2%	144.4%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	目標であった80万PVを達成することができたため。						
課題	・観光需要は変化が激しいため、常に観光をとりまく状況の変化を確認しながら需要に応じた発信を続ける必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	WEBサイト等を適正に運営して誘客につなげることで観光事業の発展や地域振興に寄与しているため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	白形 誠基	瀬戸 美琴

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (多言語パンフレット作成)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32232		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		○	-	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興						
主な取組	情報発信の充実	根拠法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実						
目的・背景	<p>松山市の観光施設、イベント、特産品といった観光情報を、外国人観光客に対して分かりやすく効果的に発信するため、観光パンフレットを多言語(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)で作成し、配布する。</p> <p>本市を訪れる外国人観光客の受入環境整備を目的とし、以下のとおり配布を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語版:平成27年4月に配布開始。 ・中国語(繁体字)版:平成28年3月に配布開始。 ・韓国語版:平成29年4月に配布開始。 ・中国語(簡体字)版:平成30年11月に配布開始。 						
対象・内容	<p>対象:本市を訪れる外国人観光客等</p> <p>事業内容:観光パンフレットを多言語(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)で作成し、市内の交通結節点や観光案内所等で配布する。</p>						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	松山市観光パンフレットの印刷製本費		1,199
予算(千円)	事業費計	3,256	1,419	1,820					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		3,256	1,419	1,820					
決算(千円)	事業費計	306	1,199			主な取組内容【R4】	松山市観光パンフレット(英語・繁体字)の印刷・製本		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
一般財源		306	1,199						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	多言語パンフレット配布数	目標	20,000	80,000	80,000	80,000	新型コロナウイルス感染症の影響により多言語パンフレットの需要が減少したため目標に達しなかった。		
		実績	7,662	15,716					
	単年で増	部	達成率	38.3%	19.6%				
成果指標	外国人観光客の入込客数(年:推定値)	目標	310,000	310,000	310,000	310,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標に達しなかった。		
		実績	4,700	17,400					
	現状維持	人	達成率	1.5%	5.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客が減少しており、観光施設等からの送付依頼は少なかったが、インバウンド再開を見据えてJNTOの海外事務所等へパンフレットを送付し、活用してもらうことで本市のPRに寄与している。							
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運航が限定されている。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	国際線の運航が再開され、本市を訪れる観光客が増加していることから継続する。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	白形 誠基	瀬戸 美琴

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (国際観光振興機構負担金)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32232		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		○	-	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興	根拠法令					
主な取組	情報発信の充実						
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実						
目的・背景	・海外へのPRIによる本市の認知度向上及び誘客促進を図るため、独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)の賛助会員となり、海外事務所へのパンフレットの送付を行うとともに、当機関が会員向けに公開しているマーケティングデータなど、インバウンドに関する情報を入手する。 ・平成21年度から独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)の海外事務所のネットワークを活かし、海外へのPRIによる本市の認知度向上及び誘客の促進を図るため、賛助会員となり負担金の支出を行っている。						
対象・内容	対象:独立行政法人国際観光振興機構(JNTO) 事業内容:賛助会員となるために必要な負担金を支出し、海外事務所へのパンフレットの送付を行うとともに、当機関が会員向けに公開しているマーケティングデータなど、インバウンドに関する情報を入手する。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	国際観光振興機構に対する負担金		300
予算(千円)	事業費計	300	300	300					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	300	300	300					
決算(千円)	事業費計	300	300			主な取組内容【R4】	・負担金の支出 ・海外事務所へのパンフレット送付 ・マーケティングデータ等の収集・分析		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	300	300						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	海外事務所へのパンフレット送付数	目標	6,500	6,500	6,500	6,500	新型コロナウイルス感染症の影響により海外事務所からのパンフレット送付依頼が減少したため目標に達しなかった。		
		実績	350	745					
	単年で増	部	達成率	5.4%	11.5%				
成果指標	外国人観光客の入込客数(年・推定値)	目標	310,000	310,000	310,000	310,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標に達しなかった。		
		実績	4,700	17,400					
	現状維持	人	達成率	1.5%	5.6%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客が減少したが、インバウンド再開を見据えてJNTOの海外事務所等へパンフレットを送付し、活用してもらうことで本市のPRに寄与した。							
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運航が限定されていた。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	国際線の運航が再開され、本市を訪れる観光客が増加していることから継続する。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	池田 剛典	瀬戸 美琴

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (松山空港利用促進協議会負担金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32232			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	-	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実							
目的・背景	<p>・松山－台北線を利用したインバウンド利用の増加による、台湾からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とし、現地の旅行会社や個人旅行者への各種プロモーションを実施するとともに、松山－台北線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布、無料バスの運行等により観光客の利便性・満足度を向上させることで同線の安定運航を図る。</p> <p>・令和元年の松山－台北線の就航にあたり、安定的な運航を確保するため、松山市空港利用促進協議会(事務局:愛媛県)が実施する認知度向上のためのPR等の事業への応分負担として、負担金を支出している。</p>							
対象・内容	松山市空港利用促進協議会に対し負担金を支出し、現地の旅行会社や個人旅行者への各種プロモーションを実施する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	松山空港利用促進協議会に対する負担金		5,208
予算(千円)	事業費計	4,518	10,222	32,947					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		4,518	10,222	32,947					
決算(千円)	事業費計	4,194	5,208			主な取組内容【R4】	・旅行会社や個人旅行者への各種プロモーション		
	国費・県費	0	5,208						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
一般財源		4,194	0						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	新型コロナウイルス感染症の影響により国際線が運休し、当初予定していたとおりに事業が実施できなかったことによる減。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	松山空港降客数(松山－台北線)(年集計)	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	新型コロナウイルス感染症の影響により松山－台北線の運休が続いたため、目標に達しなかった。		
		実績	0	0					
	単年で増	人	達成率	0.0%	0.0%				
成果指標	台湾からの観光客数(年:推定値)	目標	72,000	72,000	72,000	72,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が続いたため目標に達しなかった。		
		実績	100	1,800					
	単年で増	人	達成率	0.1%	2.5%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が続いていたが、国の水際対策が緩和されたことにより本市でもインバウンドの回復が見られた。しかし、松山－台北線の運休は続いている。							
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、松山－台北線の運休が続いている。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山－台北線の運航が再開された場合に備え、即座にインバウンド対応ができるよう継続する。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	白形 誠基	池田 剛典

1. 事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (愛媛・韓国経済観光交流推進協議会負担金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32232			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	-	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実							
目的・背景	<p>・松山ーソウル路線の利用の増加による、韓国からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とし、韓国メディア・旅行会社の招聘や現地でのPR等を実施することで、同線の安定運航を図る。</p> <p>・松山ーソウル線の安定的な運航と同路線の活用による県内産業の振興を図ることを目的として、平成12年に「愛媛・韓国経済観光交流推進協議会」(事務局:愛媛県)が発足し、協議会が実施する認知度向上のためのPR等の事業への応分負担として、負担金を支出している。</p>							
対象・内容	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に負担金を支出し、韓国メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR等の事業を実施する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源	令和3年度	令和4年度		令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に対する負担金		7,061
	事業費計	3,726	21,014	30,314					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源	3,726	21,014	30,314						
決算(千円)	事業費計	2,126	7,061			主な取組内容【R4】	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に負担金を支出し、韓国メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR等の事業を実施した。		
	国費・県費	0	7,061						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	2,126	0						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	新型コロナウイルス感染症の影響により国際線が運休し、当初予定していたとおり事業が実施できなかったことによる減。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	松山空港降客者数(松山ーソウル線)(年集計)	目標	10,000	30,000	30,000	30,000	新型コロナウイルス感染症の影響により松山ーソウル線の運休が続いたため目標に達しなかった。	
		実績	0	0				
	単年で増	人	達成率	0.0%	0.0%			
成果指標	韓国からの観光客数(年:推定値)	目標	30,000	30,000	30,000	30,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が続いたため目標に達しなかった。	
		実績	100	1,500				
	単年で増	人	達成率	0.3%	5.0%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運休が続いていたが、国の水際対策が緩和され、松山ーソウル線が令和5年3月26日から再開し、搭乗率も順調である。</p> <p>・令和5年3月26日より運航再開した松山ーソウル線の3月の降客者数は、4便で661人。</p>						
課題	松山ーソウル線の安定運航と搭乗率の維持			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	松山空港で唯一国際線が運航されている(R5.7月時点)路線であるため、愛媛県と連携し認知度向上や観光案内強化などを行い、外国人観光客の誘客促進に取り組む。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	白形 誠基	池田 剛典

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	-	○	○	
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実							
目的・背景	・愛媛県や松山市を含む県内市町の認知度向上及び外国人観光客の誘致を目的とし、海外メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR等を実施するとともに、県内の観光事業者やボランティアガイドへの研修等の実施により、外国人観光客に対するホスピタリティの向上を図る。また、松山-上海線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布等により同線の安定運航を図る。 国際観光の振興を目的として平成12年に「愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会(事務局:愛媛県)」が発足し、協議会が実施する認知度向上のためのPR等の事業への応分負担として、負担金を支出している。							
対象・内容	愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会に負担金を支出し、海外メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR、県内の観光事業者やボランティアガイドへの研修及び松山-上海線を利用した旅行商品への送客助成や市内観光施設の無料券の配布等の事業を実施する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会に対する負担金	10,404	
予算(千円)	事業費計	3,589	14,928	24,644				主な取組内容【R4】	・中国及びベトナムでの各種プロモーション
	国費・県費	0	0			41			
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	3,589	14,928	24,644					
決算(千円)	事業費計	3,027	11,346			特記事項			
	国費・県費	0	3,182						
	市債	0							
	その他	0							
	一般財源	3,027	8,164						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2					
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	松山空港降客数(松山-上海線)(年集計)	目標	5,000	10,000	10,000	10,000	新型コロナウイルス感染症の影響により国際線の運休が続いたため目標に達しなかった。	
		実績	0	0				
		単年で増	人	達成率	0.0%	0.0%		
成果指標	中国・香港からの観光客数(年:推定値)	目標	20,000	20,000	20,000	20,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が続いたため目標に達しなかった。	
		実績	11,700	2,500				
		単年で増	人	達成率	58.5%	12.5%		
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航制限が続いていたが、国の水際対策が緩和されたことにより本市でもインパウンドの回復が見られた。しかし、松山-上海線の運休は続いている。						
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、松山-上海線の運休が続いている。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山-上海線が再開された場合に備え、即座にインパウンドの対応できるように継続する。ベトナムに向けたチャーター機を運航し、好評だったことから継続予定。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	白形 誠基	池田 剛典

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (台湾友好交流事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32232			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実							
目的・背景	台北市との友好交流協定をきっかけとした取り組みにより台北市との交流を進展させる。 本市では、台北市と松山区や松山空港、松山駅など、漢字で同じ“松山”の名称を持ち、また、松山市には道後温泉、台北市には北投温泉というともに最古といわれる温泉を有することなどを縁として、平成21年度から台北市との観光交流を始めた。							
対象・内容	対象:台湾からの外国人観光客 実施内容:台北市をメインターゲットとして、現地での各種イベントに観光PRブースを出展するとともに、両市民を対象とした相互誘客キャンペーンを実施するなど交流推進・観光客誘致に向けた取り組みを行う。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	台北市との交流打合せ等に伴う普通旅費		3,952
予算(千円)	事業費計	5,377	5,963	5,776					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	5,377	5,963	5,776					
決算(千円)	事業費計	923	5,889			主な取組内容【R4】	台北市で行われるイベント等での観光PR・松山-松山チャーター運航実施に向けて愛媛県等の関係機関と連絡・調整を行った。		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	923	5,889						
人役	正規職員	1.5	1.5	1.5		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.5	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント等での観光PR出展数	目標	3	3	3	3	予定していたイベント開催ができ本市をPRすることができた。		
		実績	1	3					
	単年で増	回	達成率	33.3%	100.0%				
成果指標	台湾からの観光客数(年:推定値)	目標	72,000	72,000	72,000	72,000	新型コロナウイルス感染症の影響により台湾との往来が難しく、台湾からの観光客が少なかった。		
		実績	100	1,800					
	単年で増	人	達成率	0.1%	2.5%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により渡航制限が続いたため、事業の実施が困難であった。							
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、松山-台北線の運休が続いている。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山-台北線の再開と交流人口拡大に備え、即座にインバウンド対応ができるよう継続する。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	池田 剛典	瀬戸 美琴

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (ホストタウン事業)		事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	1:直営	
32232								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	—	○	○	
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠 法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実							
目的・背景	<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会で本市が台湾のホストタウンとして登録されたことを受け、台湾や台北市との交流を推進する。 ・本市では、台北市と松山区や松山空港、松山駅など、漢字で同じ“松山”の名称を持ち、また、松山市には道後温泉、台北市には北投温泉というともに最古といわれる温泉を有することなどを縁として、平成21年度から台北市との観光交流を始めた。 ・平成28年12月に愛媛県と共同で東京オリンピック・パラリンピック競技大会で本市が台湾のホストタウンとして登録された。 ・令和元年に松山—台北線が就航した。</p>							
対象・内容	<p>対象:台湾との交流 事業内容:ホストタウン登録されていた台湾でのスポーツ関連イベントで本市の観光PRを行う。</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
予算 (千円)	事業費計	2,924	1,263	1,620		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	台北マラソンブース出展 に伴う普通旅費		391	
	国費・県費	0	0	0				台北マラソンブース出展 に伴う手数料		33
	市債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	2,924	1,263	1,620						
決算 (千円)	事業費計	4,012	424			主な 取組 内容 【R4】	・ホストタウンイベントや台湾で行われるス ポーツイベント等での観光PR			
	国費・県費	0	0							
	市債	0	0							
	その他	0	0							
	一般財源	4,012	424							
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項	新型コロナウイルス感染症の影響により国 際線が運休し、当初予定していたとおりに 事業が実施できなかったことによる減。 令和5年度に台北市観光交流事業として継 続。			
	その他									
	合計	0.2	0.2	0.2						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	イベント等での観光PR出 展数	目標	4	4	4	4	新型コロナウイルス感染症の影響で海外と の往来が難しく、中止となったイベントがあ り、目標に達しなかった。		
		実績	1	2					
	単年で増	回	達成率	25.0%	50.0%				
成果 指標	スポーツイベント等での 観光PRブース来場者数	目標	2,200	2,200	2,200	2,200	新型コロナウイルス感染症の影響により航 空路線が運休したが、可能な限り事業を実 施したことにより目標を達成することがで きた。		
		実績	7,707	2,500					
	単年で増	人	達成率	350.0%	113.6%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により航空路線が運休し、ブース出展も予定より減少したが、出展したブースでのPR活動は予定通り実施した。							
課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、松山—台北線の運休が続いている。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	松山—台北線の再開と交流人口拡大に備 え、即座にインバウンド対応ができるよう 継続する。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	池田 剛典	瀬戸 美琴

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (台湾交流人口拡大事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32232			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	—	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠法令					
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実							
目的・背景	令和元年に松山—台北線が就航し、インバウンドの増加を図るため、本市のPRを行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により定期便の運休が続いている。 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の収束を見据えたインバウンド需要の回復期と捉え、松山の外国人観光客の3割を超える台湾にターゲットを設定し、「着地松山」を再度思い出しってもらうための事業を実施。							
対象・内容	対象 台湾からの観光客・松山市民 事業内容 ・インバウンド事業として、台湾で人気のあるインフルエンサーを活用した本市の魅力を紹介するPR動画を作成し、YouTube等のウェブ媒体で配信することなどによりインバウンド客の早期回復に繋げる。 ・アウトバウンド事業として、市民の海外渡航意欲を呼び戻すべく、台湾の最新観光情報を紹介する番組を作成し、テレビ等の媒体を活用し幅広い層へ周知することなどにより台湾への渡航意欲の醸成を図る。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	インバウンド関連事業(動画作成等)の委託料		24,000	
予算(千円)	事業費計	0	24,580	0			プロモーション活動に伴う普通旅費		302	
	国費・県費	—	0	—			台北市との交流打合せ等に伴う手数料		75	
	市債	—	0	—						
	その他	—	0	—						
一般財源		—	24,580	—						
決算(千円)	事業費計	0	24,383			主な取組内容【R4】	・台湾で人気のインフルエンサーを招聘し、現地SNS等で本市の観光情報を発信 ・台湾の訪日サイト「楽吃購(ラーチャーゴー)！」に本市の観光記事を掲載 ・台湾の魅力を感じるテレビ番組の放映や、イベントを実施			
	国費・県費	—	0							
	市債	—	0							
	その他	—	0							
	一般財源	—	24,383							
人役	正規職員	—	1.5	—		特記事項	令和4年度で事業廃止			
	その他	—	—	—						
	合計	0.0	1.5	0.0						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	作成した動画を公開する媒体数	目標	—	3	—	—	台湾で人気のインフルエンサーのSNS等の活用や台湾最大の訪日サイトで周知啓発を行ったほか、テレビ番組を放送するなど可能な限りPRを行うことができた。	
		実績	—	3	—			
	単年で増	数	—	100.0%	—	—		
成果指標	台湾からの観光客数(年:推定値)	目標	—	72,000	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により台湾との往来が難しく、台湾からの観光客が少なかった。	
		実績	—	1,800	—			
	単年で増	人	—	2.5%	—	—		
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により航空路線の運休が続いており、松山—台湾間では2月のチャーター便の運航のみであったが、チャーター便は満席での運航となるなど、コロナ禍でも本市及び台北市の魅力発信を行うことができた。						
課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、松山—台北線の運休が続いている。			今後の方向性	終期到来による廃止	左記の理由	愛媛・松山-台北・松山直行チャーター便10周年記念事業や「松山・道後幸福からくり時計」贈呈10周年記念事業を実施することで、台湾との交流人口拡大を推進する。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片坐 美乃	大政 遼平

1.事業概要【Plan】

事業名	(公財)松山観光コンベンション協会運営補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32232								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	-	-	-	
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠法令	松山市補助金等交付規則				
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実							
目的・背景	国内外の観光客及び国内・国際コンベンションの誘致支援等を行い、松山市の観光・物産振興と松山市及び愛媛県におけるコンベンションの振興を図るために、コンベンションの誘致等、行政のみでは対応が難しい事があり、(公財)松山観光コンベンション協会への補助金が必要不可欠と判断したため。							
対象・内容	以下の事業を実施する(公財)松山観光コンベンション協会に運営補助金を支出 ①観光・物産振興のために行う事業の企画、実施、支援に関する事。 ②コンベンション振興のために行う事業の企画、実施、支援に関する事。 ③PR商品の販売等に関する事。 ④その他この法人の目的達成に必要な事業							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	補助金		173,570
予算(千円)	事業費計	198,728	192,974	188,598					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	198,728	192,974	188,598					
決算(千円)	事業費計	138,486	173,570			主な取組内容【R4】	「おいでんか松山観光客誘致促進事業」の利用促進 ・「2023 台湾ランタンフェスティバル In 台北」への参加		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	138,486	173,570						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	新型コロナウイルス感染症の影響により中止や延期となったコンベンションについて、感染状況の落ちつきを踏まえ開催されるコンベンションが増えたため。		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	コンベンション誘致セールス活動件数	目標	200	220	230	250	誘致セールス先は主に東京都であり、国等の方針を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の出張による感染拡大を考慮したため。		
		実績	70	94					
	単年で増	件	達成率	35.0%	42.7%				
成果指標	コンベンション助成金の交付件数	目標	-	25	35	35	新型コロナウイルス感染症の影響により中止や延期となったコンベンションについて、感染状況の落ちつきを踏まえ開催されるコンベンションが増えたため。		
		実績	4	26					
	単年で増	件	達成率	-	104.0%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、大会主催者への誘致セールスを控える結果となり、今後の大会誘致の減少につながるため。							
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、コンベンションの開催様式や地元受入体制が大きく変わったことから、改めて現状を分析したうえで誘致活動を行う必要がある。			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	新型コロナウイルス感染症の影響によるコンベンション開催環境の変化		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	片坐 美乃

1. 事業概要【Plan】

事業名	全国商工会議所観光振興大会運営補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32232			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			-	-	-	-	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興		根拠法令	全国商工会議所観光振興大会運営事業費補助金交付要綱				
主な取組	情報発信の充実							
取組みの柱	観光キャンペーン等の充実							
目的・背景	観光への意識改革と普及啓発を図り、まちづくり一体となった観光振興を推進させるため。							
対象・内容	対象:松山商工会議所 松山市で全国商工会議所観光振興全国大会運営事業を実施する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	補助金	5,000	
予算(千円)	事業費計	0	5,000	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	5,000	0					
決算(千円)	事業費計	0	5,000			主な取組内容【R4】	令和4年6月1日(水)～3日(金)に日本商工会議所・松山商工会議所主催で行われた全国商工会議所観光振興大会の開催に対して補助金を交付した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	5,000						
人役	正規職員	0.0	0.1	0.0		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.0	0.1	0.0					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	補助金の適正交付回数	目標	0	1	-	-	・R4年度単年度事業であるため、目標設定を行わない。	
		実績	0	1				
	現状維持	回	達成率	0.0%	100.0%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	・本大会を滞りなく開催することができ、他市から多くの方にお越しいただくことができたため。						
課題	なし	今後の方向性	終期到来による廃止	左記の理由	・R4年度単年度事業であるため。			

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内・松山観光	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	栗栖 洋平	担当	大堀 祐輝	相原 健吾

1.事業概要【Plan】

事業名	修学旅行誘致促進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32233								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	-	○	○	
施策	観光産業の振興							
主な取組	情報発信の充実		根拠法令					
取組みの柱	団体旅行の誘致促進							
目的・背景	<p>【目的】中部・東海、関東、関西などの都市圏や、近隣の中国、九州エリアを対象に、学校や旅行会社に対しての営業活動や、修学旅行業界紙、専門誌を活用した情報発信、体験メニューの開発を行い、修学旅行の誘致・定着を図る。</p> <p>【背景】平日の旅行者が低迷しており、新たな団体旅行の確保が必要な中、解決策として大規模な平日の団体旅行者を確保できる修学旅行を誘致することとなった。</p>							
対象・内容	<p>【対象】中部・東海、関東、関西、中国、四国、九州などの学校</p> <p>【内容】学校や旅行会社等に対し、戦略的な営業活動を行うことで、修学旅行のさらなる誘致・定着に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> パンフレットの見直し、ホームページの更新・維持管理 戦略的・効果的な誘致活動の展開 新たな体験メニューの開発・実施 地元関係者が主体となった受入体制の構築 交通動線の調整 							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	9,133	9,625	13,082		主な経費 (千円) 【R4決算】	修学旅行誘致助成の負担金		6,255
	国費・県費	5,000	3,969	5,864				専用ウェブサイトの保守点検などの委託料	1,270
	市債							営業パンフレットなどの印刷製本費	1,008
	その他								
	一般財源	4,133	5,656	7,218					
決算 (千円)	事業費計	8,102	9,425			主な取組内容 【R4】	・新たに松山市を旅行先とする学校の定着化 ・宿泊施設と連携した受入体制の強化等 ・新たな体験メニューの開発・実施		
	国費・県費	5,747	3,951						
	市債								
	その他								
	一般財源	2,355	5,474						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	修学教育旅行パンフレット掲載体験メニュー数	目標	65	65	65	65	多様化するニーズへ対応するため、SDGs体験メニューを開発するなどし、旅行会社や学校への営業を実施したため。	
		実績	65	70				
		単年で増	個	達成率	100.0%	107.7%		
成果指標	修学旅行受入校数	目標	85	150	110	110	新型コロナウイルスの影響に対応した魅力的な体験メニューの開発や助成金制度の活用を行い、戦略的・効果的な誘致活動の展開したため。	
		実績	177	186				
		単年で増	校	達成率	208.2%	124.0%		
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	新型コロナウイルスの影響による修学旅行のマイクロツーリズムのニーズに対応した魅力的な体験メニューやコース提案、新たな受入先の掘り起こし、リピーターの定着に努めた結果、過去最高の修学旅行誘致を行うことができたため。						
課題	・広島市を含む周辺地域と連携した更なる修学旅行の誘致と定着化 ・誰もが安心して安全に参加・周遊できるユニバーサル型修学旅行の実施に向けた取り組み ・学習指導要領等の改訂によるニーズの変化			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	魅力的な体験メニューを開発・リニューアルし、継続的に提案することで、多様化するニーズへの対応し、修学旅行の誘致・定着を図るため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客担当	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	大政 遼平	安井 李江

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業 (広域観光連携推進協議会事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32241			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	-	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興							
主な取組	広域観光連携の推進		根拠法令	なし				
取組みの柱	広域観光の振興							
目的・背景	松山市、東温市、砥部町及び各市町観光協会で構成する広域観光連携推進協議会は、観光客の増加及び滞在型観光を推進するため、相互に連携を図り、宣伝、調査、誘客観光を行うことを目的とする。							
対象・内容	広域観光連携促進協議会に負担金を支出し、観光PRイベントの出展やパンフレットの作成等をおとして、2市1町への誘客を図る。松山市・東温市・砥部町で構成する広域観光連携推進協議会にて、東温市にある西日本初の常設劇場「坊っちゃん劇場」や砥部町の伝統産業である「砥部焼」、松山市の観光資源を連携させ、体験型観光を提供することで観光客の回遊を図り、観光客の増加及び滞在型観光を促進している。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工会	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	広域観光連携推進協議会への負担金		1,856
予算(千円)	事業費計	2,222	2,223	2,174					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
一般財源	2,222	2,223	2,174						
決算(千円)	事業費計	1,318	2,105			主な取組内容【R4】	・観光PRイベントへの出展(広島・東京) ・観光パンフレット「EMOTABI」増刷発行【10,000部】 ・愛媛県公式観光レジャーガイド「愛媛本」への広告出稿		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,318	2,105						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	観光PRイベント出展	目標		5	3	3	3	新型コロナウイルス感染症の影響により出展を予定していたイベントが中止となった。また、同様の理由により代替イベントの検討が困難であったため。	
		実績		0	2				
	現状維持	回	達成率	0.0%	66.7%				
成果指標	松山市観光客推定数(年集計)	目標		6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したため。	
		実績		3,956,800	4,785,600				
		現状維持	人	達成率	65.9%	79.8%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していたイベント出展が中止になったものの、広告出稿するなど計画変更を行い、効果的な周遊促進PRを実施できた。							
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少したが、今後積極的に誘致宣伝活動を行うことでコロナ禍前の水準まで観光客数を回復させたい。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	2市1町が協力・連携して事業を実施し、広域観光の促進に寄与しているため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558		
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	浦田 絵微	片坐 美乃	

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業 (四国四市観光誘致促進協議会事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金		
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	—	○	○		
施策	観光産業の振興								
主な取組	広域観光連携の推進		根拠法令						
取組みの柱	広域観光の振興								
目的・背景	四国県都4市が連携しながら、相互の観光誘致活動を支援するとともに、それぞれの観光資源を活用しつつ、効果的な宣伝活動を展開し、四国への観光交流人口の増大及び地域の観光産業の振興に寄与することを目的とする。								
対象・内容	四国四市観光誘致促進協議会に負担金を支出し、共同観光キャンペーンを通して観光交流人口の増加を図る。								

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	四国四市観光誘致促進協議会 負担金	普通旅費	450
予算(千円)	事業費計	526	528	526					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	526	528	526					
決算(千円)	事業費計	450	515			主な取組内容【R4】	・共同観光キャンペーンを実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	450	515						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	令和3年度から広域・観光交流事業へ名称変更		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	共同観光キャンペーン	目標	—	—	1	1	—		
		実績	0	1					
	現状維持	回	達成率	—	—			—	
		目標	—	—					
		実績	—	—					
		達成率	—	—					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	令和4年度は東京ドームで開催された「ふるさと祭り東京2023」に出展し、四国旅行の魅力を広く発信することができた。							
課題	特に無し			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光プロモーションに取り組むことで、観光交流人口の拡大を目指す。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	浦田 絵微	片坐 美乃

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業 (四国観光立県推進愛媛協議会)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32241			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	-	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興		根拠法令					
主な取組	広域観光連携の推進							
取組みの柱	広域観光の振興							
目的・背景	愛媛県・市・町及び観光協会をはじめとする民間団体と連携し、宣伝活動、誘客活動、受入体制整備などの各種事業を実施することで愛媛県のイメージアップと観光客の誘致に努めている。							
対象・内容	四国観光立県推進愛媛協議会に負担金を支出し、観光プロモーションや受入体制整備を通して誘客促進を図る。							

2.事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	1,131	1,190	1,209		主な経費 (千円) 【R4 決算】	四国観光立県推進愛媛協議会への負担金		1,190
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,131	1,190	1,209					
決算 (千円)	事業費計	1,131	1,190			主な取組 内容 【R4】	・GoToトラベルなどによる宿泊代金の割引事業 ・県内発着の周遊バス等のツアー造成 ・観光プロモーション推進事業		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,131	1,190						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	令和3年度から広域・観光交流事業へ名称変更		
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	誘致拡大PR事業	目標	-	-	4	4	-	
		実績	6	4				
	現状維持	件	達成率	-	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが一部中止となったものの、ブース出展により相互に交流することができたため。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続		左記の 理由	引き続き、観光プロモーションに取り組むことで、観光交流人口の拡大を目指す。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客担当	連絡先	648-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片坐 美乃	大政 遼平

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業(観光交流事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32241			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	-	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興		根拠法令	なし				
主な取組	広域観光連携の推進							
取組みの柱	広域観光の振興							
目的・背景	本市とのゆかりや深いつながりのある都市等との交流を通じ、本市の観光交流人口の拡大を図ることを目的とする。							
対象・内容	観光交流都市等(東松山市、新宿区、横須賀市、斑鳩町、熊本市、石川県、別府市)での観光PRイベントへのブース出展及び松山市発祥の「本家野球拳大会」の開催。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	観光費	目	観光総務費
予算(千円)	事業費計	2,365	1,987	2,188					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,365	1,987	2,188					
決算(千円)	事業費計	30	1,287			主な取組内容【R4】			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	30	1,287						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記事項			
	その他								
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	誘致宣伝活動		目標	7	6	6	6	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていたイベントが一部再開した。	
			実績	0	4				
	現状維持	回	達成率	0.0%	67.0%				
成果指標	松山市観光客推定数(年集計)		目標	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したため。	
			実績	3,956,800	4,785,600				
	現状維持	人	達成率	65.9%	79.8%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが一部中止となったものの、ブース出展により相互に交流することができたため。							
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少したが、今後積極的に誘致宣伝活動を行うことでコロナ禍前の水準まで観光客数を回復させたい。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光交流都市と連携し事業を進めていく。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	的場 愛子	

1. 事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (伊予鉄坊っちゃん列車運行補助金)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32242				各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する								
施策	観光産業の振興			根拠法令					
主な取組	広域観光連携の推進								
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進								
目的・背景	【目的】坊っちゃん列車の定期的な整備により、列車運行の安全性の維持を図る。 【背景】平成13年に運行を開始した本市の重要な観光資源である坊っちゃん列車の維持や安全運行に協力するため、平成28年度から補助金制度を開始した。								
対象・内容	【対象】伊予鉄道株式会社 【内容】補助金の交付を行うことにより、本市の観光振興に資する内燃機関車である「坊っちゃん列車」の定期的な整備及び改善を行う。								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】			0
予算(千円)	事業費計	4,000	4,000	4,000					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	4,000	4,000	4,000					
決算(千円)	事業費計	0	0			主な取組内容【R4】	・申請なしのため事業実施なし		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	0	0						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	坊っちゃん列車運行台数	目標	2	2	2	2	・新型コロナウイルス感染症の影響で、1台が連休しているが、滞りなく運行している。		
		実績	1	1					
	現状維持	台	達成率	50.0%	50.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・坊っちゃん列車が滞りなく運行しているため。							
課題	・坊っちゃん列車の状態を確認しておく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	・松山市の観光の顔として今後も滞りない運行を行う必要があるため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内・松山観光	連絡先	948-6555		
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	栗栖 洋平	担当	栗栖 洋平	一色 弘明	

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (JR西日本西遊記行プロジェクト)		事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金		
32242									
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○		
施策	観光産業の振興								
主な取組	広域観光連携の推進		根拠 法令						
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進								
目的・背景	<p>【目的】西日本旅客鉄道株式会社と連携し、東アジア(中国・台湾・香港)の個人旅行者をターゲットに、瀬戸内エリア及び山陰エリアの観光資源・ルートの整備、商品化及び海外向けにプロモーションを行うことで、当該地域の認知度向上を図り、誘客を促進するため。</p> <p>【背景】瀬戸内及び山陰地域は、多様な観光資源を有するものの、海外での知名度は必ずしも高くなく、外国人宿泊客数も他エリアと比べると少ない状況にある。そこで、関西から西の、瀬戸内と山陰エリアの観光ルートを整備して認知度を高めるため、当該観光ルートを「西遊記行」と称し、鉄道事業者と関係自治体等とが連携して行う事業「西遊記行プロジェクト」が発足した。</p>								
対象・内容	<p>【対象】西日本旅客鉄道株式会社</p> <p>【内容】訪日外国人向けオンライン旅行会社に西遊記行エリア(瀬戸内及び山陰地域)特集ページを設置し、エリア内の観光コンテンツを販売することで、東アジア(台湾、香港、中国)を対象に誘客を図る。</p>								

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	JR西日本西遊記行プロ ジェクトに対する負担金		239
予算 (千円)	事業費計	240	240	240					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	240	240	240					
決算 (千円)	事業費計	233	239			主な 取組 内容 【R4】	・西遊記行エリア(瀬戸内及び山陰エリア)特 集ページ内へのブログ設置やFacebook 等によるSNSを活用した情報発信を行い、 対象エリアの認知度向上に努めた。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	233	239						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	プロモーション		目標	2	3	3	3	情報発信を行い、西遊記行エリアの認知度 向上に寄与した。	
			実績	3	3				
	単年で増	回	達成率	150.0%	100.0%				
成果 指標	外国人観光客の入込客数 (年:推定値)		目標	310,000	310,000	310,000	310,000	新型コロナウイルスの感染拡大により、外 国人観光客数の増加には至らなかった。	
			実績	4,700	17,400				
	単年で増	人	達成率	1.5%	5.6%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	情報発信を行い、西遊記行エリアの認知度向上に寄与したが、新型コロナウイルスの感染拡大により、外国人観光客数の増加には至らなかった。							
課題	関係団体と連携し、効果的な情報発信を行う。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	新型コロナウイルスの影響を鑑み、インバウ ンド需要回復に努める。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内・松山観光	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	栗栖 洋平	担当	栗栖 洋平	一色 弘明

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (瀬戸内・松山ツーリズム推進会議)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32242								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○	
施策	観光産業の振興							
主な取組	広域観光連携の推進		根拠法令					
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進							
目的・背景	<p>【目的】 広島圏域の自治体、鉄道・船舶・航空事業者と連携し、広島地域及び松山地域の資源を生かしつつ、瀬戸内海が有する魅力を最大限に引き出しながら、広島地域と松山・愛媛を中核とした瀬戸内海及びその周辺を周遊する新しいツーリズムを創造するとともに、旅行市場への定着へ向けた戦略的なプロモーションを展開するなど広域的な観光産業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的としている。</p> <p>【背景】 平成24年6月に、広島圏域(広島市・呉市・廿日市市)の自治体や鉄道(JR四国、JR西日本)・船舶会社(瀬戸内海汽船、石崎汽船)と「瀬戸内・松山ツーリズム推進会議」を設立した。</p>							
対象・内容	<p>【対象】 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議</p> <p>【事業内容】 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議へ負担金を支出し、観光誘客促進を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社向けの旅行商品造成の拡充 ・広島圏域の自治体や交通事業者と連携した国内向けプロモーション ・広島圏域の自治体と連携した修学旅行の誘致活動 							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	瀬戸内・松山ツーリズム推進会議への負担金		28,200
予算(千円)	事業費計	33,000	28,200	28,700					
	国費・県費	16,500	14,100	13,750					
	市債								
	その他								
	一般財源	16,500	14,100	14,950					
決算(千円)	事業費計	33,000	28,200			主な取組内容【R4】	・旅行会社向け観光商品説明会の開催 ・近県向けキャンペーン・プロモーション事業 ・空港や駅、港等の交通拠点への広告掲出 ・助成金(旅行商品造成・修学旅行)の支出		
	国費・県費	15,707	9,364						
	市債								
	その他								
	一般財源	17,293	18,836						
人役	正規職員	1.5	1.5	1.5		特記事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.5	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	旅行商品造成助成金交付申請件数	目標	20	20	20	20	新型コロナウイルスの感染症の影響を受けながらも、商品説明会などの効果で申請件数が増加させた。	
		実績	21	22				
	単年で増	件	達成率	105.0%	110.0%			
成果指標	観光客推定数	目標	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	目標未達成であるが、旅行需要が回復基調となる中で、効果的なプロモーションにより、前年度観光客数を上回ることができた。	
		実績	3,956,800	4,785,600				
	単年で増	人	達成率	65.9%	79.8%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	新型コロナウイルスの感染症の影響を受けながらも、事業実施の方法等を柔軟に判断することで、当初の計画通り実施することができた。						
課題	・関係自治体や交通事業者と連携強化 ・時代に適応した効果的なプロモーションの実施			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	更なる旅行商品の造成につなげるほか、連携自治体や事業者の強みを活かした事業を展開し、観光誘客につなげていくため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内・松山観光	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	栗栖 洋平	担当	栗栖 洋平	一色 弘明

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (負担金・補助金除く)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32242								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○	
施策	観光産業の振興			○	○	○	○	
主な取組	広域観光連携の推進		根拠法令					
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進							
目的・背景	観光戦略である「瀬戸内・松山構想」を実現するため、松山市・広島市・呉市・廿日市市・石崎汽船・瀬戸内海汽船・JR四国・JR西日本で「瀬戸内・松山ツーリズム推進会議」を設立し、瀬戸内海が有する魅力を最大限に引き出しながら、瀬戸内を周遊する新しいツーリズムを創造するとともに、旅行市場への定着に向けたプロモーションを展開する。また、大都市圏の旅行市場に対して、松山着地商品の造成・販売及び旅行会社による旅行商品の造成・販売を促進し、誘客に繋げるとともに、瀬戸内・松山ツーリズムを展開することにより、広域的な観光産業の振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。							
対象・内容	<ul style="list-style-type: none"> 旅行商品の新規開発・販売促進、着地商品の管理・運営 松山市を中心に観光施設等を紹介する広告を松山空港案内所に掲出 雑誌広告の発刊 							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	旅行商品化等事業業務委託料		7,012
予算(千円)	事業費計	14,930	12,500	11,888					
	国費・県費	3,750	3,750	3,750					
	市債								
	その他								
	一般財源	11,180	8,750	8,138		観光プロモーション等の出張に係る普通旅費	1,198		
決算(千円)	事業費計	11,624	11,508			主な取組内容【R4】	<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社向け観光商品説明会の開催 近県向けキャンペーン・プロモーション事業 空港や駅、港等の交通拠点への広告掲出 助成金(旅行商品造成・修学旅行)の支出 		
	国費・県費	3,168	3,506						
	市債								
	その他	189							
	一般財源	8,267	8,002						
人役	正規職員	1.3	1.3	1.3		特記事項			
	その他								
	合計	1.3	1.3	1.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	プロモーション(空港看板・雑誌広告発刊等)	目標	4	4	4	4	空港看板等を利用し、訪松者に対してプロモーションを行ったが、新型コロナウイルスの影響により、掲出広告が限定されたため。		
		実績	3	3					
	単年で増	回	達成率	75.0%	75.0%				
成果指標	旅行商品販売実績	目標	6,000	6,000	6,000	6,000	関係団体と連携した旅行商品開発や既存商品のブラッシュアップを行い、誘客促進につなげることができたため。		
		実績	1,975	6,056					
	単年で増	人	達成率	32.9%	100.9%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルスの感染症の影響を受けながらも、事業実施の方法等を柔軟に判断することで、当初の計画通り実施することができた。							
課題	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携強化 瀬戸内ならではのおもてなしを向上していくような事業の周知・内容の見直し 			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	大阪・関西万博を見据え、広島県や関西地域などを訪れる外国人観光客の誘客を図るとともに、鉄道・船舶事業者のほか、航空事業者とも連携し旅行商品を造成していくため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6558	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片山 弘徳	浦田 絵微

1. 事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (しまなみサイクルトレイン利用促進協議会負担金)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○	
施策	観光産業の振興							
主な取組	広域観光連携の推進		根拠法令					
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進							
目的・背景	誰もが安全かつ快適に自転車に親しめる環境の充実と、自転車を核とした観光振興を図ることを目的とする。							
対象・内容	しまなみサイクルトレイン利用促進協議会へ負担金を支出し、効果的なプロモーションを行うことで、観光振興につなげる。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	しまなみサイクルトレイン利用促進協議会運営に対する負担金		3
予算(千円)	事業費計	100	100	0					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	100	100						
決算(千円)	事業費計	100	3			主な取組内容【R4】	・「えひめ・しまなみりんりんとレイン」のWeb広告		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	100	3						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.0		特記事項	令和4年度をもって協議会解散		
	その他	0.5	0.5	0.0					
	合計	0.9	0.9	0.0					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	春期・秋期の広告チラシの作成	目標	2	2	-	-	令和4年度はチラシではなくWEB広告に切り替えたため。		
		実績	2	-					
	現状維持	回	達成率	100.0%	-				
成果指標	サイクルトレイン利用者数	目標	400	400	-	-	「サイクルトレインしまなみ号」は「えひめ・しまなみりんりんとレイン」の開始に伴い、運行を取りやめたため。		
		実績	180	-					
	現状維持	人	達成率	45.0%	0.0%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	「サイクルトレインしまなみ号」は「えひめ・しまなみりんりんとレイン」の開始に伴い運行を取りやめたが、サイクリングや自転車に興味がある層にSNS広告を実施することで「えひめ・しまなみりんりんとレイン」の認知拡大につながった。							
課題	特に無し			今後の方向性	終期到来による廃止	左記の理由	令和4年度をもって、しまなみサイクルトレイン利用促進協議会は解散したため。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内・松山観光	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	栗栖 洋平	担当	一色 弘明	山内 翼

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (JR四国協定負担金)		事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業 区分	5:補助金・負担金	
32242			各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興		根拠 法令					
主な取組	広域観光連携の推進							
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進							
目的・背景	【目的】JR四国と連携協定を締結し、「瀬戸内・松山構想」の実現に加え、持続可能な「観光未来都市まつやま」の推進を目指して、松山市の観光発展と交流人口の一層の拡大を目指すため。 【背景】平成21年のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」の放送をきっかけに協定を締結し、瀬戸内・松山周遊ルートの定着に向けた特別切符の発売や、交通広告を活用したプロモーションを通して、観光誘客を図っている。							
対象・内容	JR四国に負担金を支出し、以下の連携事業を実施。 ・「瀬戸内・松山構想」と「観光未来都市まつやま」を推進するための国内外プロモーション ・九州の旅行会社を対象とした視察ツアー ・俳句を題材としたツアー ・既存の観光素材の高付加価値化支援 ・観光列車を活用した地産地消推進キャンペーン							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	協定に基づくプロモーション事業への負担金		5,200
予算 (千円)	事業費計	3,000	5,200	5,200					
	国費・県費		2,600	2,600					
	市債								
	その他								
一般財源	3,000	2,600	2,600						
決算 (千円)	事業費計	3,000	5,200			主な 取組 内容 【R4】	「伊予灘ものがたり」のリニューアルに合わせて、高付加価値のツアー・キャンペーンを企画するとともに、九州の旅行会社へ松山の旅行商品の造成をJR四国と連携して実施した。		
	国費・県費	1,500	2,600						
	市債								
	その他								
一般財源	1,500	2,600							
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他								
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	JR四国との連携プロモーション	目標	14	14	14	14	JR協定ならではの事業を実施し、観光需要の下支えを図ることができた	
		実績	17	18				
	単年で増	回	達成率	121.4%	128.6%			
成果 指標	観光客推定数	目標	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標未達成であるが、旅行需要が回復基調する中で、効果的なプロモーションにより、前年度観光客数を上回ることができた。	
		実績	3,956,800	4,785,600				
	単年で増	人	達成率	65.9%	79.8%			
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、JR四国観光誘客パートナーシップ協定を締結し、JR四国との更なる連携強化を行うとともに、より効果的なプロモーションを実施したため。						
課題	・大阪・関西万博の開催に向けたインバウンド誘客の促進 ・九州の旅行会社への旅行商品造成意欲を向上させる事業の展開			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	大阪・関西万博を視野に入れ、「瀬戸内・松山構想」を推し進めるため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内・松山観光	連絡先	948-6555	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	栗栖 洋平	担当	栗栖 洋平	一色 弘明

1. 事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (瀬戸内4県都市長会事業実行委員会)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32242			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】			○	○	○	○	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する							
施策	観光産業の振興							
主な取組	広域観光連携の推進		根拠法令					
取組みの柱	「瀬戸内・松山」構想の推進							
目的・背景	【目的】瀬戸内の中心都市である岡山市、高松市、広島市、松山市の瀬戸内4県都市が、連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮することを目的としている。 【背景】瀬戸内の中心都市である岡山市・広島市・高松市・松山市の4市が連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮するため、平成27年度に当該委員会を設立した。							
対象・内容	瀬戸内の中心都市である岡山市・広島市・高松市・松山市の4市が連携して共通課題に取り組み、互いの特性を活かして相乗効果を発揮するため、平成27年度に当該委員会を設立した。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	実行委員会の事業実施に対する負担金		1,000
予算(千円)	事業費計	1,000	1,000	1,000					
	国費・県費			500					
	市債								
	その他								
	一般財源	1,000	1,000	500					
決算(千円)	事業費計	1,000	1,000			主な取組内容【R4】	・JR駅構内(大阪・福岡)での観光PRイベントの実施 ・JR駅構内へのポスター掲示 ・インフルエンサーを活用したSNS等での情報発信		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,000	1,000						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記事項			
	その他								
	合計	0.6	0.6	0.6					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	4市連携プロモーション		目標	2	2	2	2	観光PRイベントの際、動画コンテンツを用いたVR体験など、より効果的な手法を4市と連携して取り組んだため。
			実績	2	2			
	単年で増	回	達成率	100.0%	100.0%			
成果指標	観光客推定数		目標	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	新型コロナウイルス感染症の影響により目標未達成であるが、旅行需要が回復基調となる中で、効果的なプロモーションにより、前年度観光客数を上回ることができた。
			実績	3,956,800	4,785,600			
	単年で増	人	達成率	65.9%	79.8%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、瀬戸内の豊富な観光資源を活かして、国内観光客の誘客を行ったため。						
課題	・瀬戸内4県都市との連携強化 ・他自治体の取り組み等の情報収集・差別化 ・瀬戸内4県都市ならではの観光PRの実施			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	4市への来訪意欲を高め、さらなる誘客促進を図るため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客担当	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	安井 李江	近松 由美子

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業 (にきたつの路日曜市開催事業)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
39999								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他			-	-	-	-	
施策	その他							
主な取組	その他		根拠法令					
取組みの柱	その他							
目的・背景	平成17年7月から道後温泉の新たな魅力づくりのため実施。古くから観光客や市民に愛され続けている道後温泉の新たな魅力づくりとして「にきたつの路」で朝市を月1回開催し、道後地区の活性化を図ることを目的とする。							
対象・内容	負担金交付先 道後にきたつの路日曜朝市実行委員会 毎月、第4日曜日に「道後にきたつの路」にて、道後の新たな魅力づくりの場を提供することを目的として、路上にて地元で採れた新鮮野菜や、手作りの弁当などを観光客に販売する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	実行委員会の事業実施に対する負担金	540		
予算(千円)	事業費計	540	540	540						
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	540	540	540						
決算(千円)	事業費計	540	540			主な取組内容【R4】	毎月第4日曜日に「道後にきたつの路」で朝市を実施。上記を行う交付先 道後にきたつの路日曜朝市実行委員会に負担金を支出。			
	国費・県費									
	市債									
	その他									
	一般財源	540	540							
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項				
	その他	0.1	0.1	0.1						
	合計	0.2	0.2	0.2						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	朝市出店店舗(テナント)		目標	200	200	200	200	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全12回中11回の開催となったこと、感染拡大傾向のある時期は出店数が減少したことから目標値を下回った。	
			実績	66	163				
	現状維持	張	達成率	33.0%	81.5%				
成果指標	にきたつの路日曜朝市来場者数		目標	22,000	22,000	22,000	22,000	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全12回中11回の開催となったことなどから達成値が70パーセントを下回った。	
			実績	6,754	15,010				
	単年で増	人	達成率	31.0%	68.2%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染者が増加している時期は休止とした。感染状況が比較的落ち着いている時期は感染対策を講じた上で事業を適切に行った。							
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き道後の新たな魅力づくりの場を提供するとともに、道後の交流人口の拡大に向けて、朝市を継続して開催する。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	大政 遼平	片坐 美乃

1. 事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業 (JR松山駅観光案内所業務)		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
39999								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他			-	-	-	-	
施策	その他							
主な取組	その他		根拠法令					
取組みの柱	その他							
目的・背景	JR松山駅観光案内所は陸の玄関口であるJR松山駅構内に設置しており、観光客の利便性の向上を図る。 JR松山駅は陸の玄関口として通勤・通学その他、観光客も多く利用することから、同施設内に観光案内所を設置することで観光客の利便性向上に繋げるため。							
対象・内容	JR松山駅観光案内所の光熱水料の支払・案内所の使用料の支払 観光客の窓口として観光案内及び宿泊所案内(松山観光コンベンション協会委託) 観光案内所は、JR松山駅構内にあり、JRの施設貸付の条件として市が直接借り受ける必要があることから市が賃貸借契約を結んでいる。また、同施設内の電気代についても松山市が負担している。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	観光案内所設置に伴う使用料及び賃借料		188
予算 (千円)	事業費計	257	257	257				観光案内所の光熱水費	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
一般財源	257	257	257						
決算 (千円)	事業費計	231	229			主な取組 内容 【R4】	JR松山駅観光案内所の光熱水料の支払・案内所の使用料の支払 観光客の窓口として観光案内及び宿泊所案内(松山観光コンベンション協会委託)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	231	229						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	案内件数		目標	13,000	16,000	22,000	29,000	新型コロナウイルス感染症「まん延防止等重点措置」が全面解除となり、また全国旅行支援が実施され、旅行者の復活の兆しがみられたため。	
			実績	13,064	19,218				
	単年で増	件	達成率	100.5%	120.1%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	観光客に対して、観光案内所としての用務を果たしているため。							
課題	特になし			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、観光案内等を行い、観光客の利便性の向上を目指す。 JR松山駅観光案内所を維持・継続していく。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片坐 美乃	

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業 (愛媛県観光物産協会運営事業)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金
39999				各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】				-	-	-	-
政策	その他							
施策	その他			根拠法令				
主な取組	その他							
取組みの柱	その他							
目的・背景	愛媛県観光物産協会は愛媛県の観光客誘致促進、観光物産・観光振興などの中核的機関として位置づけられているため、愛媛県内における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図り、併せて国民の健全な観光旅行の普及発展と国際観光の振興を促すとともに、県産品の紹介宣伝、販路拡大、品質改善等を行うことにより、国民の生活、文化及び経済の向上発展、国際親睦並びに愛媛県産業の振興と県民福祉の向上に寄与することを目的とする。							
対象・内容	交付先：(一社)愛媛県観光物産協会 松山市他全19市町及び観光協会、物産協会、商工会議所等が会員となり負担金を支出 それに基づき、愛媛県観光物産協会では、県内外の観光客の誘致、観光物産、観光文化の振興、観光振興のためのイベント等の実施を行う。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	協会運営に対する負担金		445
予算(千円)	事業費計	445	445	445					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	445	445	445					
決算(千円)	事業費計	445	445			主な取組内容【R4】	松山市他全19市町及び観光協会、物産協会、商工会議所等が会員となり負担金を支出。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	445	445						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	負担金の適正執行	目標	1	1	1	1	負担金を適正に支出できたため	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	滞りなく負担金を支出し、愛媛県観光物産協会の活動を行うことができたため。						
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き観光振興につなげるため、負担金を支出する。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	観光誘客	連絡先	948-6556	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	曾根 崇文	担当	片坐 美乃	

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業 (日本観光振興協会運営事業)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
39999		各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		-	-	-	-	
政策	その他						
施策	その他						
主な取組	その他	根拠法令					
取組みの柱	その他						
目的・背景	国への政策提言・広報啓発、観光地域づくり基盤・受入れ態勢整備促進、人材育成(研修開催、インターンシップの支援等)等 日本観光振興協会は、観光に関する中枢機関として魅力ある観光地域づくり、広域観光ルートの整備、観光交流の活性化等各種の事業を行っており、松山市の地域経済及び観光産業の発展、国際親善等にもつなげると判断したため。						
対象・内容	負担金交付先:日本観光振興協会 愛媛県内への観光客のあっせんや、県産品の紹介宣伝・販路拡大などのあっせん・指導等 会員は全国約700の観光関係者で構成されており、観光交流活性化(訪日外国人受入支援等)、観光情報収集・提供システム整備等を行っている。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	協会運営に対する負担金		324
予算 (千円)	事業費計	324	324	324					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	324	324	324					
決算 (千円)	事業費計	324	324			主な取組 内容 【R4】	愛媛県内への観光客のあっせんや、県産品の紹介宣伝・販路拡大などのあっせん・指導等		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	324	324						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	負担金の適正執行	目標	1	1	1	1	負担金を適正に支出できたため	
		実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	滞りなく負担金を支出し、日本観光振興協会の活動を行うことができたため。						
課題	特になし	今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き観光振興につなげるため、負担金を支出する。			

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	新良 優佳	後藤 潤子

1. 事業概要【Plan】

事業名	(公財)松山国際交流協会運営補助事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
42311			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】			○	-	○	-	
政策	多彩な人材を育む							
施策	国際化の推進		根拠法令	松山市補助金等交付規則				
主な取組	国際交流の促進							
取組みの柱	国際交流事業・活動と人材育成の推進							
目的・背景	<p>・(公財)松山国際交流協会は、市民や在住外国人が広く参加できる事業を実施し、在住外国人の地域への溶け込みを図るとともに、国際交流に貢献できる人材の育成、活用に向けたコーディネートなど、地域の国際交流の拠点として実践的な取り組みを展開している。当該協会に補助金を交付し運営資金を確保することで安定的な事業運営を図ることを目的とする。</p> <p>・(公財)松山国際交流協会は、基本財産10億円の運用益で各種国際交流事業を実施していたが、近年の金利の大幅な低下に伴い利息収入が減少し、当該協会の事業運営等に支障をきたす状況に至っていたため、補助金の交付を開始した。</p>							
対象・内容	<p>対象:(公財)松山国際交流協会 事業内容:(公財)松山国際交流協会へ補助金を支出。 市民レベルでの国際交流の推進に向け、地域や個人に根ざした国際交流事業や多文化共生に向けての諸事業を実施している。 ①国際体験創造事業 ②共生支援事業 ③基盤整備事業 ④もてなしの風土醸成事業 主な事業として、中学生の姉妹・友好都市への派遣、また、地球人まつりや国際交流サロンなどを通じて、国際交流を体験できるイベントを開催しているほか、日本語教室などを通じて在住外国人の支援などを行っている。</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	国際交流費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	協会の事業実施に対する負担金補助及び交付金		54,243
予算(千円)	事業費計	90,274	86,479	77,710					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
一般財源	90,274	86,479	77,710						
決算(千円)	事業費計	49,353	54,243			主な取組内容【R4】	・まつやま中学生オンライン留学!(まつやま中学生海外派遣事業の代替) ・地球人まつり ・外国語としての日本語教室 ・国際交流サロン ・台北市×松山市 大学生インターネット俳句教室の開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
一般財源	49,353	54,243							
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	小中学生国際理解支援事業参加者数	目標	435	435	435	435	今まで実施していたジュニア国際交流を拡大し、令和4年度から新たに国際理解教室を行い始めたため		
		実績	6	527					
	単年で増	人	達成率	0.0%	121.1%				
成果指標	中学生チャレンジプロジェクト参加者数	目標	600	600	600	600	新型コロナウイルス感染症の影響で事業を実施できなかったため		
		実績	0	0					
	単年で増	人	達成率	0.0%	0.0%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響で事業を実施することができないことが多かったが、中学生オンライン留学や松山市と台北市の大学生を対象としたオンライン俳句教室など、国内で行えることをできたため。							
課題	令和2~4年度の3年間、新型コロナウイルス感染症の影響により中学生の海外派遣は実施できなかった。(令和3,4年は代替でオンライン交流あり)			今後の方向性	一部見直し	左記の理由	アフターコロナを迎え、今年度見直しを行い、令和6年度からの海外派遣事業をより充実させたものにしていく。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887	
部長等名	西村 秀典	課等長名	田邊 浩司	リーダー	青野 寛子	担当	新良 優佳	後藤 潤子

1.事業概要【Plan】

事業名	国際交流推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営
42312		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		○	-	-	-
政策	多彩な人材を育む					
施策	国際化の推進	根拠法令				
主な取組	国際交流の促進					
取組みの柱	都市間交流の推進					
目的・背景	・姉妹・友好都市との交流を中心に国際交流の進展を図り、国際性豊かな人づくりを推進する。 ・昭和56年のアメリカ・サクラメント市との姉妹都市提携をはじめとして、平成元年にドイツ・フライブルク市と姉妹都市提携を、平成16年に韓国・平澤市と友好都市提携を、平成26年に台湾・台北市と友好交流協定を締結するなど、国際交流を推進している。					
対象・内容	対象:姉妹・友好都市を中心とした海外の都市 事業内容:姉妹・友好都市との交流促進を図るため、姉妹・友好都市や民間の交流親善団体との調整を行っている。また、代表団の派遣や会議への参加、スポーツ交流などを通じて、都市間交流を促進している。					

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	国際交流費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	普通旅費	619	
予算(千円)	事業費計	14,939	6,898	7,437				主な取組内容【R4】	・フライブルク市副市長来松受入れ ・プラザ・クリナリア出展(フライブルク市) ・愛媛マラソンへの平澤市訪問団受入 ・台北市×松山市 大学生インターネット俳句教室の開催
	国費・県費					535			
	市債								
	その他								
決算(千円)	一般財源	14,939	6,898	7,437					
	事業費計	2,047	1,977						
	国費・県費								
	市債								
人役	その他					特記事項	新型コロナウイルス感染症の影響で海外との往来が制限されていたため、旅費や受入れに関する費用の執行が少なかった。		
	正規職員	1.0	1.0	1.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	姉妹・友好都市への訪問者数	目標	155	155	155	155	新型コロナウイルス感染症の影響	
		実績	0	7				
	単年で増	人	達成率	0.0%	4.5%			
成果指標	姉妹・友好都市からの来松者数	目標	190	190	190	190	新型コロナウイルス感染症の影響	
		実績	4	39				
	単年で増	人	達成率	2.1%	20.5%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられたが、全体としては概ね低調						
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は姉妹・友好都市との往来ができなかったが、オンラインを活用する等コロナ禍でも可能な事業を実施するとともに、下半期は往来も可能になり、対面での交流も行えたため。						
課題	令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で対面での交流ができなかった。令和4年度から対面での交流が徐々に復活してきたため、今後は対面での交流を平時のレベルまで戻せるよう交流促進を図る必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	新型コロナウイルス感染症の水際対策も緩和され、海外との往来も復調の兆しがあるため、対面での交流等も平時のレベルまで戻し、さらなる交流を行っていくため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	松山城活性化	連絡先	948-6557	
部長等名	西村 秀典	課等長名	森本 智恵	リーダー	仙波 匡視	担当	芝 澄麗	江原 晶彦

1.事業概要【Plan】

事業名	松山城復興建造物等調査・改修事業		事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
44111								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む			-	-	-	-	
施策	文化遺産の継承			-	-	-	-	
主な取組	文化財の保存・活用		根拠法令	地方公営企業法、松山城天守閣条例				
取組みの柱	文化財保護の推進と活用							
目的・背景	松山城内の重要文化財以外の建造物の傷み具合を調査しながら改修を行うことを目的とする。1923年(大正12年)、松山城(本丸)が旧藩主家の久松家へ払下となり、そのまま松山市に寄贈され、以降、松山市の所有となっている。							
対象・内容	対象:松山城の建造物(重要文化財以外)。 事業内容:平成20年度から指定管理者制度を導入し、復興建造物の維持管理を行っているが、大規模な改修は、本事業から松山市が直接実施している。 令和4年度は松山城良門・同東統櫓外部改修工事等を実施。							

2. 事業実施【Do】

		会計	松山城観光事業特別会計	款	松山城管理費	項	松山城管理費	目	松山城管理費	
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度						
予算 (千円)	事業費計	42,549	91,527	51,647		主な経費 (千円) 【R4決算】	良門・同東統櫓改修等の 工事請負費	41,821		
	国費・県費									
	市債									
	その他	42,549	91,527	51,647						
	一般財源									
決算 (千円)	事業費計	15,965	41,821			主な取組 内容 【R4】	松山城復興建造物等の調査・改修を実施。 令和4年度は松山城良門・同東統櫓外部改修工事を実施。			
	国費・県費									
	市債									
	その他	15,965	41,821							
	一般財源									
人役	正規職員	0.7	0.7	0.7		特記 事項	松山城良門・同東統櫓外部改修工事を令和5年度に繰り越したため、執行率が60%を下回った。			
	その他									
	合計	0.7	0.7	0.7						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	計画に基づく施設の調査・大型改修の着工数	目標	1	1	1	2	松山城良門・同東統櫓外部改修は計画どおり着工し、目標を達成した。	
		実績	1	1				
	現状維持	件数	達成率	100.0%	100.0%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	計画どおり、松山城良門・同東統櫓外部改修に着工できた。						
課題	令和5年度以降は指定管理者が変更になることから、指定管理者と連携して施設の日常点検に努め、将来的な施設の修繕計画策定につなげる。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	令和5年度から指定管理者が変更になるが、施設の管理・運営等の業務内容に変化はないため。	